

令和7年度

事業報告書

**社会福祉法人
/ マド福祉会**

目 次

第1	法人全体の取り組み	1
第2	法人本部	3
1	取組状況	3
2	理事会および評議員会の開催	3
3	監事監査等実施状況	6
4	行政監査等実施状況	6
5	その他	6
第3	事業別取組状況	7
1	介護老人福祉施設	7
(1)	生活相談員部門	7
(2)	介護部門	8
(3)	看護部門	9
(4)	給食部門	10
2	短期入所生活介護	11
3	通所介護	12
4	認知症対応型通所介護	14
5	居宅介護支援	15
6	認知症対応型共同生活介護	17
7	軽費老人ホーム（ケアハウス）	17
8	地域包括支援センター	18
(1)	取組状況	18
(2)	事業状況	19
9	コミュニティケア事業	21
(1)	取組状況	21
(2)	実施状況	22
10	地域交流事業	23
(1)	取組状況	23
(2)	事業状況	23
第4	職員研修	24
(1)	取組状況	24
(2)	実施状況	24

第1 法人全体の取り組み

令和7年度「事業計画書」における、次の5つの「運営方針」の取り組み状況及びその結果等について報告する。

◎職員確保と待遇改善に向けた取り組み

職員の確保、離職防止を進めるための賃金の改善に向けた財源確保と職員の業務負担の軽減のため、削減目標を設定したうえで、これまで実施した「業務の棚おろし」の活用や各職員に理解を求め、肥大化する時間外労働削減の取り組みを進めた。

結果、職員間相互の協力もあり、令和6年度に比べ5割程度の時間外手当が削減され、削減費用の一部を財源として、令和8年度に職員賃金の改善を行った。

また、職員確保の新たな取り組みとして、「indeed PLUS」や「LINE スキマニ」、「カイトク」といった求人サイトの活用を試みたほか、外国人介護人材や新規採用につながるよう大学や専門学校からの実習生を継続して積極的に受入れた。しかしながら、求人情報がメディアに取り上げられることで、求職者からの問合せは若干増加したものの、十分な職員確保にはつながらず、職員不足は依然続いており、さらなる新たな対応が求められている。

◎組織機構の充実と次世代育成の継続

令和6年度の組織機構改正（課・係体制）により、組織内の指揮系統やそれぞれの職の役割が明確化され、職員は役職者としての責任感や意気込みを強く意識し始めるとともに、次世代のリーダー候補として期待できる職員を見出すことができた一方で、その役割や責任の重さに戸惑う職員も一部で見られ、組織の充実と職員間の相互理解の向上を一体的に進めるための課題も明らかになった。

そのため、今後は個々の職員が持つ「強み」や「弱み」といった特性を確実に理解し、それぞれの職員に配慮した指導教育に努めることで、組織の充実と急務である次世代の人材育成につなげる。

◎職員の負担軽減と離職の防止

職員の負担軽減と離職の防止のためには既存業務の見直しが必須であり、ここ数年、各事業、職種ごとに「業務の棚おろし」に取り組んできたが、令和7年度は職員数と業務量が最も多い特養介護職員についての検討を行い、拠点ごとに業務の削減、統合、省略等の結論に至った。併せて、シフト変更や時間単位での業務支援についても取り組んだ。

また、「眠りスキャン」など、一部で導入している「ICT・介護ロボット」の活用は、時間外労働や休日勤務の削減にもつながり、職員の「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」の一助となっている。

職員の精神的負担の軽減策として、「カスタマーハラスメント防止規程」の制定や専門家等による職員研修の実施や外部の相談体制の整備を行い、「メンタルヘルス」対策にも取り組んだ。

◎情報共有の促進と老朽化設備の再整備

各拠点の活性化のための拠点間人事異動については、職員の家庭的事情等により、進んでいないものの、各職種における対応を3拠点での統一を図るべく、オンライン会議や職員研修、またラインワークス等を活用し、情報交換の機会を積極的に設けることで、情報が共有され、業務の省略化や適切な対応への転換に取り組むことができた。

限られた財源の中で、老朽化した各種設備の修繕や入替等は非常に厳しい状況にあるが、拠点間で情報交換、協議を行う中で、法人全体での優先度を決め、再整備を進めている。

◎利用者本位と QOL の向上の実現

日々変化する利用者の心身の状態や生活状況、さらに利用者の意向や家族等の希望を可能な限り反映できるよう、多職種間で様々な対応を協議し、迅速かつ適切に利用者一人ひとりの QOL の維持向上につながる支援に努めている。

新型コロナの流行以後、利用者への感染拡大を防止するため、面会時間、場所等、様々な制限を設けてきたが、予約制としていた面会は、利用者・家族等の希望や近隣施設の動向を踏まえ予約不要としたほか、家族等との外出及び外泊を再開するなど、ほぼコロナ禍前の対応に戻している。

但し、新型コロナに限らず、高齢者は感染症に対しハイリスクであることに変わりはなく、職員は自らの感染対策と、来訪者等への感染対応の徹底を継続して行い、利用者本位の生活や健康と安全の確保に努めている。

第2 法人本部

1 取組状況

理事会は、令和7年4月に第1回を開催し、以下計6回開催した。

内容としては、以下のとおりであるが、第1回が長期運営資金借入に関する件、第2回は前年度の事業報告・決算、また役員の改選期であることから、評議員・理事・監事の推薦に関する件等、第3回が役員改選に伴う理事長及び業務執行理事の選任に関する件、第4回は各種規程の一部改正及び制定に関する件、第5回が事業所の廃止、各種規程の一部改正に関する件等、第6回は主に事業所の廃止、定款の一部変更のほか、次年度の事業計画・当初予算等について審議を行い、いずれの回においても承認を得た。

評議員会は令和7年6月に第1回を開催し、以下計3回開催。第1回は前年度の事業報告・決算、理事・監事の選任、第2回は事業所の廃止、第3回では事業所の廃止、定款の一部変更、次年度の事業計画・当初予算に関する審議を行い、いずれも承認を得た。

2 理事会および評議員会の開催

(1) 理事会開催状況

第1回

- 開催年月日 令和7年4月23日
- 出欠状況 決議の省略
- 議事内容
審議事項 第1号 福祉医療機構による「物価高騰の影響を受けた施設等に対する経営資金又は長期運転資金」の借り入れについて

第2回

- 開催年月日 令和7年6月2日
- 出欠状況 理事 9名全員出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
審議事項 第1号 令和6年度事業報告について
第2号 令和6年度補正予算について
第3号 令和6年度決算報告について
第4号 評議員選任・解任委員の選任について
第5号 評議員の推薦について
第6号 理事・監事の推薦について
第7号 評議員選任・解任委員会の招集について
第8号 定時評議員会の招集について
第9号 職員給与規程の一部改正について

- 報告事項 第1号 令和6年度決算に関わる社会福祉充実残額について
第2号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について
第3号 監事監査の結果報告について
第4号 運営状況報告について
第5号 見積合わせ結果について

第3回

- 開催年月日 令和7年6月19日
- 出欠状況 理事 9名全員出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 理事長の選任について
 - 第2号 業務執行理事の選任について

第4回

- 開催年月日 令和7年9月24日
- 出欠状況 理事 9名全員出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 各種規程の一部改正及び制定について
 - 報告事項 第1号 各事業所の指導監査について
 - 第2号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について
 - 第3号 監事監査の結果報告について
 - 第4号 運営状況報告について
 - 第5号 見積合わせ結果について

第5回

- 開催年月日 令和7年12月1日
- 出欠状況 理事 9名全員出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 事業所の廃止について
 - 第2号 各種規程の一部改正について
 - 第3号 職員の賞罰について
 - 第4号 評議員会の招集について
 - 報告事項 第1号 各事業所の指導監査について
 - 第2号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について
 - 第3号 監事監査の結果報告について
 - 第4号 運営状況報告について
 - 第5号 見積合わせ結果について

第6回

- 開催年月日 令和8年3月12日

- 出欠状況 理事 9名中8名出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 事業所の廃止について
 - 第2号 定款の一部変更について
 - 第3号 令和7年度補正予算について
 - 第4号 令和8年度事業計画について
 - 第5号 令和8年度当初予算について
 - 第6号 賞与資金の借入について
 - 第7号 評議員会の開催について
 - 報告事項 第1号 各事業所の指導監査等について
 - 第2号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について
 - 第3号 監事監査の結果報告について
 - 第4号 運営状況報告について
 - 第5号 見積合わせ結果について

(2) 評議員会開催状況

第1回

- 開催年月日 令和7年6月19日
- 出欠状況 評議員 10名中7名出席 理事7名出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 令和6年度事業報告について
 - 第2号 令和6年度補正予算について
 - 第3号 令和6年度決算報告について
 - 報告事項 第1号 運営状況報告について

第2回

- 開催年月日 令和7年12月10日
- 出欠状況 評議員 10名中9名出席 理事7名出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 事業所の廃止について
 - 報告事項 第1号 運営状況報告について

第3回

- 開催年月日 令和8年3月24日
- 出欠状況 評議員 10名中9名出席 理事7名出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 事業所の閉鎖について
 - 第2号 定款の一部変更について

- 第3号 令和7年度補正予算について
 - 第4号 令和8年度事業計画について
 - 第5号 令和8年度当初予算について
- 報告事項 第1号 運営状況報告について

3 監事監査等実施状況

実施日	監査種別	監査内容	実施場所
R7.5.26	監事監査	令和6年度事業執行状況監査	特養はっさむはる
R7.5.29	監事監査	令和6年度事業決算会計監査	特養はっさむはる
R7.7.25	監事監査	令和7年度第1四半期会計監査	特養はっさむはる
R7.11.4	監事監査	令和7年度第2四半期会計監査	特養はっさむはる
R8.2.6	監事監査	令和7年度第3四半期会計監査	特養はっさむはる

4 行政監査等実施状況

	実施日	監査名	対象事業所
小樽	令和7年10月16日	小樽市地指定居宅介護支援事業所運営指導	指定居宅介護支援事業所はる
発寒	令和7年7月24日	通所介護・第1号通所事業所の運営指導	デイサービスセンターはる北17条
藤野	令和7年7月10日	社会福祉施設に対する指導監査	特別養護老人ホームらいらっく 短期入所生活介護施設らいらっく

5 その他

○ 北海道社会福祉フォーラムへの参加

市民と共に創る福祉社会の実現を目指して、複数の異なる分野の社会福祉法人が共同で実行委員会を立上げ、2010年より毎年開催している「北海道社会福祉フォーラム(旧「札幌社会福祉フォーラム」)」の構成メンバーとして、令和7年度もテーマ選定から運営に携わった。

【令和7年度 開催内容】

≪開催テーマ≫

『医療と介護の連携』 ～ 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを！～

≪開催日・場所≫

令和7年10月18日(土) ウィスティリアホール及びオンライン開催

第3 事業別取組状況

1 介護老人福祉施設

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小樽	特別養護老人ホームはる	80名	平成9年8月1日
発寒	特別養護老人ホームはっさむはる	80名	平成18年9月1日
藤野	特別養護老人ホームらいらく	80名	平成19年10月16日

(1) 生活相談員部門

【小樽】

入院者が12月末より急に増えたものの、平均稼働率98.4%と予算稼働を達成した。面会制限を緩和し、利用者と家族がさらに交流できるよう努めたことにより、家族も安心し、利用者の生活の質も高くなった。

法人内の他拠点の生活相談員との情報共有をさらに推進することで、提供しているサービス内容の充実や業務の削減につながった。

地域における在宅での生活が困難な利用者が増えており、その受入れを積極的に行った結果、地域での存在感を示したが困難ケースも多く、介護現場が大変な状況になったケースも散見された。

【発寒】

入院者が多く、また入院日数も長期間となったことから、平均稼働率95.2%と予算稼働を下回った。

祝日の居室面会を再開することで、家族へ日常の様子や心身状態の変化を全職種から、タイムリーにより伝達することができ、また外出や外泊の再開で、その人らしい生活につながる支援を行えた。一方で家族から利用者の身だしなみが整っていないとの苦情もあり、QOLの向上は今後の課題となった。

家族参加の夏祭りの開催や家族との外出の機会の増加、また地域の方々の喫茶店利用も再開されたことにより、施設内が賑わい、地域社会とのつながりが回復してきた。

入所申込待機者獲得に向け、ショートステイ利用枠の維持、見学の受入れ、病院や在宅介護支援事業所への営業を行った結果、待機者数は30~40名で推移し、令和7年度末では42名で、令和6年度より5名の減少となっている。

そのような中でも、老施協生活相談員研修会へ参加するなど、近隣特養との情報交換を積極的に行い、稼働率向上に向けた取り組みを行ってきた。

【藤 野】

平均稼働率 96.6%と予算稼働を下回った。要因として、新型コロナウイルス感染症罹患や食事量低下等により、入院療養を必要とする利用者が複数発生したことによる。

令和7年度は家族懇談会の実施や、地域住民向けに介護相談会を開催するなどの活動を行った。しかし、家族懇談会の出席率は低く、今後は周知方法等の見直しなどの改善が必要である。また施設全体としても、以前実施していた行事の再開や、家族と利用者をつなぐ交流の場を十分に設けることができていない状況であった。

相談支援業務においては、日々の業務に追われる中で、利用者一人ひとりの状況把握や、きめ細やかな家族対応に偏りが生じ、利用者や家族の想いに十分寄り添えない場面があり、また、多職種との情報共有や発信に遅れが生じたこともあった。

(2) 介護部門

【小 樽】

多職種が専門性を活かしたチームアプローチを行うことで、利用者が求めるニーズを大切に、その人らしい生活を送ることができるように努め、一人ひとりのこれまでの生活歴や、家族からの情報収集にも力を入れることで個別ケアを充実させた。

自立支援にも力を入れ、過剰介護により利用者の自立を妨げることがないように、「小さなできた」を増やしていけるように取り組んだ。

職員が不足している状況で、業務負担を減らせるよう、移乗ボードやスライドシートなどを導入し負担軽減を図ったが、ICTの導入は補助金が採択されず断念した。

清掃業務を将来的に委託から直営への切り替えを目的として、障がい者雇用を拡大、業務内容の確認や変更を行い、業務の一部を清掃業者から移行した。

特定技能実習生の育成に努め、夜勤の勤務体制へ進めることができた。

【発 寒】

実習については、新たに西野学園せいとく介護こども福祉専門学校の学生が加わり、実習を通じて施設の雰囲気や取り組み内容を伝えることで、令和8年度に1名の介護福祉士を採用することができた。

夜勤業務の軽減のため、眠りスキャンを10台導入し、夜間活動的な利用者の睡眠状況を把握・分析し、適切なケアを選択することができた。その他、特定技能実習生の働きやすい環境を整えるため、介護記録支援ソフトの入力・確認方法を変更したところ、全職員の業務軽減にもつながった。

薬関係事故は、事故防止委員会からの毎月の注意喚起をするなどの取り組みを行い、前年度より減少することができたが、他拠点に比べて発生数は多く、さらなる指導体制が課題となっている。

「北海道働きやすい介護の職場認証制度」についての認証は難しく、令和7年度の取り組みを断念した。

利用者本人より、家族からの要望に応えることが多くなり、そのことが利用者の本人らしさが継続して得られる環境にあるのかどうか疑問を感じる状況がある。

【藤 野】

介護職員の時間外労働削減、限られた職員数の中で無駄なく効率的にケア業務を行うことを目的として、各ユニットにおいて業務工程の見直しを実施した。その結果、業務の標準化及び役割分担の明確化が進み、時間外労働の減少につながった。

特定技能実習生を新たに3名採用し計6名体制となったものの、正職員及び夜勤パート職員の退職が続いた影響により、夜勤が可能な職員が減少している。そのため、一人当たりの夜勤回数が増加する傾向にあり、夜勤負担の偏りが新たな課題となった。また、「LINE スキマニ」及び「カイトク」を活用し、主に入浴介助業務について外部人材の募集、活用を行った結果、常勤職員の身体的・精神的負担の軽減につながった。

業務記録の効率化を目的に、新たなICT機器を導入することで、記録業務の省力化が進み、ケアに充てる時間の確保につながっている。

転倒事故が令和6年度と比較して約2倍近くに増加している。利用者の身体状況や認知症状等により、転倒事故を完全に防止することは困難な側面もあるが、ヒヤリハットレベルで抑制されている部分もあり、リスクの予測や利用者の変化への気づきの段階までは把握できていると考えられる。

(3) 看護部門

【小 樽】

利用者のADL維持向上のため、嘱託医を含めた多職種との連携を図り、チームアプローチを展開。日々の体調管理や定期健康診断などの実施、歯科医や歯科衛生士等の指導のもと口腔衛生にも努めた結果、誤嚥性肺炎は2名と少なく、良好な健康状態を維持できた。しかしながら、褥瘡ゼロを目標としていたが、3名に褥瘡が発生した。

医務室内での薬の事故が多く発生し、マニュアルの整備と職員一人ひとりの意識改革を試みた。ヒヤリハットは多少上がるようにはなってきたが、まだマニュアルが順守できていない職員もいた。

【発 寒】

様々な雇用形態の看護師6名(常勤換算5.4名)体制となり、負担のない働き方を目指し、時間外削減(定時退勤)や年休消化率アップを実践した。

嘱託医のタイムリーな診察・指示により、チームで早期対応してきたが、利用者が複

数疾患を抱えていることから入院が増え、治療期間も長期化し、医療依存度が高くなることで、施設に戻れず転院となることが多くなり、施設での対応の限界を感じた。

感染症については、新型コロナウイルスに利用者が罹患したが、多職種とともに迅速に初動対応ができ、感染拡大及び長期化することはなかった。

面会制限が対面に緩和され、家族とのコミュニケーションがとれるようになり、少しずつではあるが信頼関係を築くことができている。看取りについても、最期まで家族の気持ちに寄り添い、多職種と連携し対応することができた。

【藤 野】

嘱託医の変更に伴い、協力医療機関との連携に難しさを感じ、新たな医師との信頼関係構築を図るとともに、医師の診療方針や考え方を尊重しながら、往診及び受診対応における協力体制の整備に努めた。

また、入院者数が増加し施設稼働にも大きな影響を与えた。入院の主な要因としては、転倒による骨折や感染症罹患によるものが挙げられ、引き続き、事故防止対策及び感染症対策を重点的に継続していく必要がある。

人材育成及び法人内看護職員の連携強化では、法人研修等を通じて、3拠点の看護職員間での意見交換を実施し、相互理解と情報共有を図ることができた。他拠点の取り組みや考え方をすることで、法人全体としての連帯感を改めて感じる機会となった。

(4) 給食部門

【小 樽】

食材費の高騰などもあり、食材の使用に関しては様々な形で工夫を凝らすなど、苦慮する状況にあった。利用者の経口摂取維持のため、令和6年度同様に多職種連携や歯科医の協力もあり、十分な対応が取れて目標は達成できたと考えている。

現在、厨房職員は外国人も多くなっており、大きな事故がないよう常に注視、対応しているが、人材不足もありヒヤリハット事案は増加している。

【発 寒】

利用者が飽きないように様々なジャンルの献立を織り交ぜながらも、基本は和食や季節の食材を使用した馴染みのある料理を意識して、献立を立てることができた。

またミールラウンド等により多職種間で好きなものや食べやすいものの情報共有及び協議を行うことで、看取り期や嚥下機能の低下した利用者に適切に食事提供することができた。

アレルギー対応については年々増加しており、また厨房職員の入れ替わりもあるため、基礎知識の周知は今後も徹底し安全な対応を継続していく。

【藤 野】

社会情勢の影響により食材価格の高騰が継続する中、年間を通して使用食材の再検討や品数・分量の見直しを行い、行事食などについては、引き続き「食べる楽しみ」を感じられるよう工夫を凝らし、限られた食材費と人員の中でも可能な範囲で充実した食事提供に努めたが、限られた条件下での食事提供となったことから、一部の献立については「食べにくい」、「味が合わない」といった意見も聞かれ、改善が求められた。

厨房職員については安定した人員確保が難しい状況が続き、基本的な食事提供に関する確認や、ミス発生時の対応に苦慮する場面も多く見られた。業務内容の共有や確認体制の強化を図り、安定した食事提供体制の構築が課題である。

嚥下診療については、日常の食事状況を踏まえて対象者を選定し、歯科医師及び言語聴覚士から専門的な助言を受けたうえでの多職種での検討・評価の流れが定着した。このことにより、利用者の嚥下機能に応じた安全な食事提供と、職員の知識向上につながることができた。

2 短期入所生活介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	ショートステイはる	20名	平成9年8月1日
発 寒	ショートステイはっさむはる	20名	平成18年9月1日
藤 野	ショートステイらいらっく	20名	平成19年10月16日

【小 樽】

5、6月と12月から2月までの期間は入退所者が多く、平均稼働率は85.2%にとどまった。令和6年度に引き続き、稼働率向上に向け、病院との関係性をさらに強化するため、生活相談員が中心となって病院との情報共有を積極的に行い、一定の効果は見られている。

受入れ利用者は家族の対応が十分ではない困難ケースの割合が増え、病状的に急変するケースも多いため、入所後すぐに入院、退所となるなど、安定した稼働につながりにくいケースも増えている。特養の待機者数から見ても、特養やショートステイを利用したい地域の高齢者数も徐々に減ってきており、選ばれる施設になるように家族の意向、ニーズ、情報の全体像の把握を丁寧に行い、多職種で情報共有に努め、受入れ後も施設での生活に不具合が出ないよう心がけ対応した。

【発 寒】

利用に関する問い合わせは常にあり、月10件程度の新規利用者への受入れを行ったが、

定期利用者の契約終了、入院、キャンセルなどにより空床が多く、結果、平均稼働率 91.2%と予算稼働を達成できなかった。虐待事案での利用依頼はないが、家族の体調不良等による緊急利用の依頼のために空床ベッドの利用のほか、居宅介護支援事業所との関係構築強化を図った。

居宅や施設の介護支援専門員との情報共有などにより、長期利用時でも在宅生活を意識した支援を行えた。

運動ニーズの声もあり、レクリエーションや運動機会の確保が課題となった。

【藤野】

平均稼働率は 85.1%で、令和 6 年度の 83.5%からは若干上昇したものの、依然として低迷が続く結果となった。主な要因としては、緩和目的で入院療養を選択されるケースや、傷病により緊急入院となる事例が増加したことが挙げられる。一方、利用希望者は少なく、空室を速やかに埋めることができなかった。

ただし、ショートステイ利用のリピーターを減らさない取り組みとして、利用者及び家族の要望を可能な限り丁寧に伺い、事前説明を十分に行うとともに、苦情や意見に対しても誠実に対応するよう努めた結果、年度末には稼働率上昇に転じている。

3 通所介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小樽	デイサービスセンターはる（赤岩）	50 名	平成 9 年 8 月 1 日
	デイサービスセンターはる小樽稲穂	45 名	平成 27 年 12 月 1 日
発寒	デイサービスセンターはっさむはる	42 名	平成 18 年 9 月 1 日
	デイサービスセンターはる北 17 条	40 名	平成 20 年 1 月 7 日
藤野	デイサービスセンターらいらっく	40 名	平成 19 年 10 月 16 日
	デイサービスセンターはる清田	40 名	平成 25 年 5 月 1 日

【小樽】

《はる》

事業廃止となるデイサービスセンターはる小樽稲穂からの利用者を 10 月以降 40 名程度受入れたことにより、平均稼働率は 80.5%と予算稼働を上回った。ただし、送迎距離が長くなることへの懸念などから、想定していた移行者数までは届かなかった。また、稲穂からの受入れを優先するため、営業活動を 10 月以降一時停止していたことも、想定以下となった理由と考える。

稼働上昇に向けたプログラムとして外出レクやドライブなどを実施。特にスーパー

への買い物レクが人気で、セブンイレブンの訪問販売も定着した。また、稲穂で好評であった運動系レクリエーションを機能訓練に積極的に取り入れるなど、新しい利用者のニーズにも応えるよう対応した。

稲穂からの異動職員についても通勤面等の理由から大幅な異動とはならなかった。

《はる小樽稲穂》

9月に事業廃止を決定してから、新規受入れを行わなかったため、平均稼働率は62.6%にとどまった。ただし、「歩行トレーニングマシーン」の導入、運動系レクリエーションの強化を図るなど、他のデイサービスセンターでも取り組み可能なプログラムに取組み、今後につながるものとなった。

事業廃止になるまで、暖カフェ、コンビニ、八百屋への買い物、フードコートへの外出、デイサービスの作品展示会に参加する等、積極的に地域との交流を図った。その他にも、ふまねっと、ポッチャ、モルック、さをり織り、麻雀、夏季限定の藍染など多彩なレクリエーション活動を実施した。

【発 寒】

《はっさむはる》

平均稼働率が84.9%と、予算稼働を達成することができなかった。低迷の要因として、収支改善のため単価の安い要支援者の受入れを中止したことや複数回利用者の急な解約の増加、雪害による2日間の営業中止などが挙げられる。

デイサービスセンターは北17条の廃止に伴い、令和8年3月に利用定員を50名とし、北17条からの利用者25名を受入れた結果、1日平均利用者43名となり、稼働は回復傾向にあり、個別機能訓練については令和6年度より1.5倍増加となった。

稼働上昇に向け、利用者ニーズを踏まえ、定期的な買物レクのほか、出張洋服店の販売会など新たな企画に取り組み、その様子をSNSや広報誌等により発信し、法人外の居宅介護支援事業所へアピールした。近隣のデイサービスの閉鎖も相次ぎ、体験利用も増えたが、契約に至る割合は62.8%に留まった。

働きやすい職場作りとして業務の棚おろし結果を反映させることにより、時間外勤務を令和6年度より大幅に削減できた。また、定期的に個別の職員面談を行い、それぞれの悩みや課題を確認することで離職者を出さずに済んだ。職員は外部研修に参加することでスキルアップとなり、若い世代の育成も進めることができた。

介護実習生2名の受入れと、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験」の実習生を年間15名受入れ、次世代への育成にも取り組んでおり、今後も継続していく。

《はる北17条》

令和7年度当初、登録人数は106名、稼働率もほぼ予算稼働率の82.4%と、安定したスタートとなったが、複数回利用者の解約者が増え、8月には登録人数が96名へ減少し稼働率は低迷。9月の事業廃止決定を受け、10月から体験利用受付を中止、利用者移行を開始し、令和8年2月末事業廃止。

事業廃止までの間、感染症の発生はなく、小樽への外出、ぶどう狩り、回転寿司の夕食などの企画を行い、利用者ニーズを大切に考え、質の高いサービスの提供に努めた。

また、初めて「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験」の実習を受入れることで、20代の若者との世代間交流も利用者サービスの向上となった。

【藤野】

《らいらく》

平均稼働率は93.1%となり、予算稼働を達成した。職員それぞれが役割に向かい協力し合い業務を遂行することができ、利用者それぞれのニーズに沿って地域の力であるボランティアによる演奏会や交流会、外出行事等の実施、併せて趣味活動である書道や制作レク、運動系レクリエーション（ボッチャ、モルック、スカットボール等）を継続することで満足度を下げることなく営業できた。

季節性の感染症や突発的な入院は毎年のものであり、お迎えの際に状態の変化を早く気づくことや、入院状況、病気の状態、退院の予定など細やかに把握をすること、かつ利用者、家族のニーズや曜日ごとのサービスの把握をし、追加や増回、新規者を募ることで、稼働を大きく変化させることなく営業ができた。職員一人ひとりの自覚やスキルも上がっていると考えられ、利用者、家族ともに安心して利用ができていた状況。

さらに加算関係では上位加算算定に向け、体制づくりに取り組んだ。

《はる清田》

令和8年2月末にて事業廃止。利用期間の短い利用者が比較的早めに次の事業所に移行され、体調不良や認知症状の悪化からデイサービスではなく、小規模多機能ホームやグループホームなど、他のサービスに切り替える利用者もあり、最終的には大きな混乱もなく、他事業所への移行を終えることができた。

4 認知症対応型通所介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小樽	認知症対応型デイサービスセンターはる	12名	平成9年8月1日

複数回利用者の施設入所、冬期間の送迎困難利用者のサービス切り替え、さらに利用

者の長期ショートステイ利用などにより、10月以降の稼働が低迷した。デイサービスセンターは小樽稲穂の事業廃止に伴って、新規利用者2名を獲得。

運営推進会議は年2回開催し、デイサービス利用者や家族、地域包括支援センターとともに、認知症や介護などについて知識を深める機会を持った。

5 居宅介護支援

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
小樽	指定居宅介護支援事業所はる	平成12年4月1日
発寒	指定居宅介護支援事業所はっさむはる	平成18年6月1日
藤野	指定居宅介護支援事業所らいらっく	平成20年3月27日
	指定居宅介護支援事業所はる清田	平成25年5月1日

【小樽】

令和6年度末に職員1名が退職したことにより、令和7年度は予防委託件数を最小限にとどめ、経験豊富な介護支援専門員が在籍していることを事業所の強みとして、新規相談は断ることなく対応した。地域包括支援センターとの関係性も良く、相談経路の5割は地域包括支援センターからとなっている。しかしながら、この一年間は契約数よりも解約数の方が上回る月が多く、登録件数及び、給付管理件数も年末からの入院者急増が重なり、減少傾向となっている。新規相談を伸ばすため、引き続き地域包括支援センターや地域住民等へ働きかけを続けていく。

職場環境としては、毎朝のミーティングや対応に苦慮している事案のケース共有を随時行うことで、担当介護支援専門員のみならず、事業所全体で支援していくことができている。それにより、職員個々の負担感やストレスの軽減を図ることができている。

ICTの活用については、法人内の居宅合同会議で随時情報共有しながら、事業所内でも徐々に推進していくことができた。

数	支(給)援(付)要(支)業(支)務(支)受(支)託(支)件(支)予(支)防	令和7年度 要介護度別給付管理状況													合計	平均	構成比	令和6年度	令和5年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%	40	8
	要支援2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	1.1	0.4%	65	6
	要介護1	80	85	82	84	78	75	75	72	71	74	73	71	920	76.7	30.7%	997	519	
	要介護2	103	101	104	106	106	107	107	103	103	98	94	95	1,227	102.3	40.9%	1,400	884	
	要介護3	43	43	42	42	44	44	47	49	52	49	47	47	549	45.8	18.3%	499	309	
	要介護4	19	18	17	16	18	18	16	18	19	16	16	14	205	17.1	6.8%	250	147	
	要介護5	6	8	8	9	9	7	5	6	7	6	6	6	83	6.9	2.8%	94	56	
	月合計	253	256	254	258	256	252	251	249	253	244	237	234	2,997	249.8	100%	3,345	1,929	

【発寒】

給付管理件数は月平均260件で、予算給付管理件数248件を上回る実績となった。

その要因としては、医療機関への働きかけによる相談件数の増加や、札幌市西区第3地域包括支援センターの職員不足による再委託の増加にある。そのため、要支援者の割合が37.6%と高くなり、収支改善が課題として残った。

事業運営においては、利用者及び家族を対象としたアンケート調査を実施し、概ね高い満足度を得たものの、一部には改善を要する意見も見られ、サービス内容を見直すこととなった。

西区内複数の法人と連携したBCP訓練を実施し、災害時の協力体制の確認と関係性の強化を図った。さらに法人内の居宅合同会議やICT活用の推進により、業務の標準化及び効率化を進め、職員の負担軽減及び時間外労働の削減に一定の成果が見られた。

		令和7年度 要介護度別給付管理状況															令和6年度	令和5年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
支 援 業 務 受 託 者 は 予 防	要支援1	40	41	46	52	52	52	43	44	41	43	51	45	550	45.8	17.6%	482	426
	要支援2	55	53	54	54	56	56	52	51	48	48	50	49	626	52.2	20.0%	633	580
	要介護1	90	90	99	100	98	92	94	98	104	103	102	102	1,172	97.7	37.5%	1,023	1,031
	要介護2	26	24	24	26	28	28	32	33	35	36	32	33	357	29.8	11.4%	377	466
	要介護3	15	15	13	13	13	14	16	15	15	13	14	17	173	14.4	5.5%	182	139
	要介護4	17	18	19	16	16	15	14	14	16	12	12	11	180	15.0	5.8%	117	97
	要介護5	5	5	5	4	5	6	6	5	5	6	6	7	65	5.4	2.1%	66	87
月合計		248	246	260	265	268	263	257	260	264	261	267	264	3,123	260.3	100%	2,880	2,826

【藤野】

《らいらっく》

4月より介護支援専門員3名体制となり、特定事業所加算(Ⅲ)算定を開始した。

地域包括支援センターや南区の保健師より困難事例の相談が4件など、令和7年度の相談件数はケアプラン作成に至ったケースは77件を含め100件となったが、予算給付管理件数112件を達成することはできなかった。

ICT化の推進については、ケアプランデータ連携の導入を6月より開始。初期設定や取扱いに不慣れなこともあったが、外部の一部のサービス事業所と情報共有を図り、運用することができた。

また、拠点間の情報共有を目的として、居宅合同会議(web会議)を年間12回開催することができた。

		令和7年度															令和6年度	令和5年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
支 援 業 務 受 託 者 は 予 防	要支援1	5	5	6	6	6	5	6	6	5	7	6	6	69	5.8	5.8%	54	24
	要支援2	4	4	2	3	2	2	2	1	3	3	4	6	36	3.0	3.0%	61	64
	要介護1	32	34	33	37	40	36	41	43	51	45	44	44	480	40.0	40.6%	493	495
	要介護2	27	30	32	32	33	33	33	29	27	28	30	29	363	30.3	30.7%	331	374
	要介護3	7	7	6	6	7	7	8	8	8	9	12	11	96	8.0	8.1%	112	179
	要介護4	10	10	10	6	5	8	8	7	7	9	8	7	95	7.9	8.0%	139	111
	要介護5	3	3	3	4	3	3	4	5	5	3	4	3	43	3.6	3.6%	28	32
月合計		88	93	92	94	96	94	102	99	106	104	108	106	1,182	98.5	100%	1,218	1,279

《はる清田》

令和8年2月にて事業廃止となったが、担当するケースに関しては、担当者の継続

担当及び他事業所へ滞りなく移管することができた。

		令和7年度												合計	平均	構成比	令和6年度	令和5年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
援（給 業（付 務支 援管 受理 者理 託者 は予 防支 ）	要支援1	9	12	12	11	11	13	13	12	9	4	4	0	110	9.2	7.7%	120	186
	要支援2	23	23	20	20	21	19	20	21	15	10	7	0	199	16.6	13.8%	291	284
	要介護1	68	60	61	63	62	61	60	58	47	32	31	0	603	50.3	42.0%	820	738
	要介護2	35	35	33	29	29	29	29	27	20	15	14	0	295	24.6	20.5%	405	400
	要介護3	13	12	15	15	15	14	11	10	8	6	4	0	123	10.3	8.6%	120	98
	要介護4	7	7	8	6	6	8	8	8	2	3	2	0	65	5.4	4.5%	73	60
	要介護5	4	4	5	6	6	5	4	4	3	1	0	42	3.5	2.9%	45	28	
月合計		159	153	154	150	150	149	145	140	104	71	62	0	1,437	119.8	100%	1,874	1,794

6 認知症対応型共同生活介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小樽	グループホームはる	27名	平成16年4月1日

利用者との日々の生活の中で、職員が利用者の自立支援を意識し、利用者自らが料理、配膳、掃除などに取り組めるよう支援した。感染症対策の緩和により、利用者も外出が可能になり、地域の方々との交流を持つことができた。

令和7年度は施設内での看取りはなく、入院のための退居者が1名いたものの、体調不良による入院者も少なく、平均稼働率は99.6%と安定していた。

職員が不足している状況のため、ユニットリーダーを中心に業務改善に向けた検討を重ね、その実践と評価の中で対応した。また、職員が抱えている課題を職員全体で評価し、個人の能力及びチームワークの向上へつなげた。外部研修には職員体制が厳しい中、2度のみ参加だったが、法人内研修と施設内研修には滞りなく参加できた。

地域交流として、今年度も「だがし屋はる」を継続している。駄菓子の袋売りを開始したところ、地域の方々や、特養やケアハウスの利用者から好評であった。

また、令和7年度は暖カフェとの連携による「出張こども食堂」を2度開催。定期開催も検討したが、立地的な理由からか参加者が少なく、赤岩地区での需要はないものと判断し、開催の継続を断念した。

7 軽費老人ホーム（ケアハウス）

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小樽	ケアハウスはる	50名	平成11年9月1日

入居定員 50 名をほぼ維持することで、高い入居率を継続することができた。一方で利用者の高齢化が進み、体調不良や日常生活への支援を必要とする方が増えており、施設としての対応力がより求められる状況となった。こうした中でも、感染症への強い危機意識を持って予防策を継続した結果、年間を通じて感染症の発生を防ぎ、安心して生活できる環境を維持することができた。しかしながら、心身に不安を抱える利用者が増える中、日々の関わりから些細な変化を捉え、適切な支援につなげる体制の強化が求められている。

レクリエーション活動については、利用者の身体状況に合わせて無理のない形で実施しつつ、保育園児との菜園活動や認知症カフェへの参加、外部レクリエーションの招致など、可能な範囲で社会参加や楽しみの機会を提供した。

一方で、施設の老朽化による修繕箇所も増えており、安全で快適な環境を維持するための整備が、今後の重要な課題として残った。

8 地域包括支援センター

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
発 寒	札幌市西区第 3 地域包括支援センター	平成 25 年 4 月 1 日

(1) 取組状況

経験年数が高い職員の離職が続き、地域包括支援センターとしての資質の維持や新たに採用した職員の育成が求められる一年であった。新人職員には「新人職員育成プログラム」をもとに、主査間で計画的に進捗状況を確認し、現状に合った指導を行い、常に状況を把握しながらチーム全体でフォローと育成を行うことができた。また、法人内外への研修参加も取り入れつつ、職員の経験年数問わず、担当ケースの支援方法について相談しやすい環境が構築できた。

ICT 活用の一つとして、札幌市より助成を受けてノート型 PC を導入し、シンテレワークシステムの活用で利用者宅や会議中であっても記録入力することができ、業務の効率化を図った。その利用率は年度末には 50%となっている。また、ラインワークスを使用した情報・予定の共有、タスク管理などでタイムリーな職員間情報共有が行えており、利用者等の対応の統一化が図られていることも業務の効率化につながっている。

利用者本位と QOL の向上の実現に向けて、センター内会議や朝のミーティングで利用者の立場や視点に立った支援を心がけるようセンター長等役職者から伝えることで、各職員にその意識が浸透しているほか、職員同士サポートし合える環境が整い始めたことで、利用者や家族等からの苦情や事業所間のトラブルはなく、センターの信用・信

頼回復となりつつある。

(2) 事業状況

① 総合相談支援業務

【相談者別 件数】

相談別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比	R6年度	R5年度
本人	34	39	29	29	23	35	27	28	36	30	29	30	369	30.8	42.0%	294	121
家族介護者	21	16	17	15	10	18	23	15	9	18	16	15	193	16.1	22.0%	209	191
家族親戚	8	9	11	5	13	10	12	2	7	8	17	9	111	9.3	12.6%	89	50
知人近隣住民	1	4	1	2	0	0	1	0	1	3	4	2	19	1.6	2.2%	20	10
介護支援専門員	8	1	8	2	6	5	2	5	4	5	4	0	50	4.2	5.7%	28	44
介護福祉士(大卒)	2	3	0	0	0	3	2	2	2	2	1	0	17	1.4	1.9%	7	7
民生委員	2	1	1	1	0	1	3	0	1	0	0	2	12	1.0	1.4%	26	27
福祉のまち推進委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1	0.1%	0	0
町内会	2	2	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	9	0.8	1.0%	5	4
医療機関	2	8	3	5	2	6	4	3	4	1	4	1	43	3.6	4.9%	39	65
行政機関	3	3	4	3	0	1	3	3	1	1	2	1	25	2.1	2.8%	18	17
介護予防センター	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0.3	0.3%	1	7
その他	3	3	2	2	2	0	3	2	5	2	0	3	27	2.3	3.1%	56	20
合計	86	89	76	67	57	81	80	60	70	71	79	63	879	73.3	100.0%	792	563

【相談内容別 件数】 ※重複あり

相談内容	介護サービスの利用希望	介護保険制度・サービス	インフォーマルサービス	介護予防	その他の保健福祉サービス	ケアマネジメントに関する事	高齢者虐待に関する事	消費者被害に関する事	権利擁護(オ・カ以外、金)	認知症に関する事	心身の健康に関する事	家族の疾病・障がいに関する事	医療に関する事	住まいに関する事	処遇困難	苦情	情報提供	お守り認定	その他
R7年度	366	198	18	6	8	38	2	0	4	40	26	9	23	77	5	11	32	3	25
R6年度	376	185	16	8	9	48	1	0	4	31	27	13	31	80	1	8	21	3	41
R5年度	312	123	13	6	4	42	3	0	12	43	42	12	25	74	10	6	31	7	40

② 権利擁護業務

【高齢者虐待 相談受付・対応】

受付・対応内容	相談数(実数)		対応件数(重複可)					合計
	相談受理	(うち、区へ通報)	事実確認の協議	コアメンバー会議	初期評価会議	虐待対応ケース会議	虐待対応評価会議	
R7年度	7	0	0	0	0	0	0	0
R6年度	2	2	5	11	1	1	3	21
R5年度	7	5	7	2		0	2	11

【権利擁護支援】

支援内容	日常生活自立支援事業	成年後見制度 (任意・親族)	成年後見制度 (市長申立)	消費者被害に関する相談窓口	法律相談窓口	その他
R7年度	0	2	0	0	5	1
R6年度	3	7	0	0	0	0
R5年度	1	2	0	0	2	2

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

支援内容・人数	相談支援(人数)				研修開催等	
	関係機関との連携体制構築支援	介護支援専門員同士のネットワーク構築支援	介護支援専門員の実践力向上支援	その他	回数	人数
R7年度	10	14	132	0	12	154
R6年度	26	21	106	0	23	108
R5年度	48	22	60	0	3	37

【地域ケア体制構築】

	個別地域ケア会議関係	地区地域ケア会議関係	区地域ケア推進会議	市地域ケア推進会議	運営推進会議等	介護支援専門員関係	地区組織との連携	医療機関との連携	在宅ケア連絡会との連携	その他関係機関との連携	合計
R7年度	1	1	2	0	53	7	27	0	12	10	113
R6年度	37	23	51	0	51	11	35	1	6	37	252
R5年度	21	17	29	1	32	14	36	2	10	22	184

④ 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度	R5年度
直営	件数	431	429	426	431	436	422	436	441	447	438	418	416	5,171	5,090	5,003
	新規	7	13	7	12	4	8	16	13	7	9	7	8	111	190	128
再委託	件数	206	211	211	222	225	233	226	223	221	223	238	237	2,676	2,587	2,377
	新規	11	3	12	6	8	8	4	7	5	2	6	7	79	77	73
件数合計		637	640	637	653	661	655	662	664	668	661	656	653	7,847	7,677	7,380
新規合計		18	16	19	18	12	16	20	20	12	11	13	15	190	267	201

9 コミュニティケア事業

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
小樽	暖カフェ	平成 29 年 8 月 1 日

(1) 取組状況

令和 7 年度は「こども食堂」を中心事業におき、「地域活動支援事業」を縮小、「認知症カフェ」については、「認知症」というネーミングでは参加しづらいという住民からの要望を踏まえ、「共生カフェ」の一部として実施した。

その他、サンモール一番街の行事等に積極的に参加し、地域の活性化、賑わいに寄与することを目指したが、サンモール一番街における更なる店舗閉鎖、更地化等が続き、賑わいづくりには至らなかった。

ア こども食堂

利用者急増によるキャパオーバー解消のため、開催を 2 週に 1 回から週 1 回開催に変更して 2 年目となり、利用者平均が 37.3 名から 34.9 名と下がったものの、大人が 13.6 名から 8.8 名と減少するなか、子どもは逆に 23.6 名から 26.3 名と増加しており、子どものニーズはむしろ増えていることが確認された。

子どもたちには、「孤食」対策の一環として、「いただきます」等のあいさつ、配膳・下膳のお手伝い、食事中的他者への配慮、おかわりのマナー、支援者への感謝等を繰り返し伝えた。このことにより、小学生を中心にこれらが習慣化し、子ども同士でも声かけ、注意が行われるようになった。

さらには、高校生・大学生ボランティアの協力により、子どもたちへの遊びや学習支援が行われ、クイズや実験を通して子どもたちの好奇心が刺激され好評であった。

ボランティアは、1 回あたりの平均活動人数が、5 年度 3.4 人、6 年度 4.4 人、7 年度 5.2 人と着実に増えている。ただし、高校生・大学生ボランティアの活動は順調であったものの、大人の運営ボランティアが限られているため、増員が課題であり、今後は小樽市の引きこもり支援チームや「杜のつどい」等と連携し、増員に努める。

保護者も、安全な環境で子どもたちを遊ばせながら、ゆったりと食事をとることができ感謝されることが多かった。また、地域の高齢者や障がいのある方も訪れ、子どもたちとの交流もできた。

イ 共生カフェ

誰もが集える場所、安価で気軽に利用できる喫茶スペースを目指して、季節行事関連の展示、駄菓子販売を行うほか、好評であった外国人観光客向けの「折り紙無料プレゼント」の実施や市民向けに「福祉系パンフレット配布コーナー」を設置する等工夫したが、1日あたりの利用者数平均は令和6年度の3.3名から3.4名と微増にとどまった。

今後は、こども食堂や認知症カフェの活動を拡大する中で、カフェの認知度を高め、季節行事や染め、織り等のアクティビティの一部開放により、集客に努める。

ウ 認知症カフェ

参加者が少ない理由のひとつの「認知症という言葉に抵抗感がある」という声に配慮して「共生カフェ」の一部として実施したが、1回あたりの参加者は令和6年度の8名から5.1名と減少した。

そもそもの市民ニーズに合致していないことも考えられ、内容、方法ともに再検討が必要となったため、令和8年度からは、月1回から週1回に回数を増やすとともに、これまでの「講話+脳トレ型」から「ランチ提供型」に変更することとした。

エ 地域活動支援事業

上記の各種事業を行うなかで、本事業の周知活動を行う計画であったが、チラシ設置にとどまり、市内各種団体等への積極的な周知活動を行うこともできなかった。こども食堂に係る業務割合が多く、本事業にかける時間がなかったことが要因。

結果、利用状況が令和6年度の9日から5日と減少したほか、利用が特定の団体となっていることから、この事業単独としては令和7年度末で廃止とし、今後は、ニーズのあった一部活動を「こども食堂」の催事として実施することとする。

(2) 実施状況

事業名	活動日数	利用状況	活動内容
こども食堂	55日	大人 延 477人 小人 延 1,420人	食事提供を必要としている子ども（高校生まで）と親、ひとり暮らしや孤食の地域住民等を対象に、高校生以下無料、大人400円で夕食を提供

共生カフェ	224日	大人 延 656人 小人 延 118人	一般市民や観光客等の交流の場として、コーヒー等の飲み物を安価で提供
認知症カフェ	12日	延 61人	専門職が講話や相談を通じて認知症当事者、家族等に対応するほか、関係者の交流の場を提供
地域活動支援事業	5日	登録 8団体	地域で活動する福祉等の関係機関・団体などの活動のために「暖カフェ」を無料で貸し出し。 また、事業参加団体間における調整、交流等の企画などの実施

10 地域交流事業

(1) 取組状況

ア. 小樽拠点

稲穂の暖カフェが赤岩へ出張し、「グループホームはる」の1階でこども食堂を2度開催。しかし、立地的な面で参加者が少なく需要はないと判断し、継続は中止。

イ. 発寒拠点

発寒拠点では、認知症カフェ「暖カフェ」を3回開催した。地域住民の関心度は高く、リピーター数も増え、多くの参加者が訪れて好評であった。

(2) 事業状況

【小樽拠点】

活動名	活動延日数	主な活動内容	備考
ボランティアグループあかり	178日	ウェス切・外出レク付き添い他	ボランティア登録数7人
だがし屋はる	264日	駄菓子販売	売上額 169,310円

【発寒拠点（認知症カフェ:暖カフェ）】

開催日	講話内容等	参加者数
令和7年6月28日	「認知症と口腔ケア」 講師：木本恵美子氏（札幌市歯科医師会）	17
令和7年10月18日	「認知症と運動」	20

	講師：菊地亜希子氏（札幌西円山病院）	
令和 8 年 3 月 7 日	「認知症による口座凍結を防ぐには？家を売ったお金で施設に入れる？預金・財産の管理は誰がする？相続のルールって？」 講師：白崎貞則氏（株式会社まちかど事務所）	20

第 4 職員研修

（1）取組状況

令和 7 年度の研修は、人員不足に伴う参加者招集の難しさから一部で中止や内容変更が生じたものの、概ね計画に沿って実施することができた。外部講師の招聘や研修動画コンテンツの活用により、多様な講師陣による学びの機会を提供できた点は大きな成果である。特に新採用職員向け研修では、理事長による講義を通じて法人理念やビジョンを直接学ぶことができる極めて貴重な機会となり、組織として大切にしてきた思いを深い説得力とともに次世代へ継承する場となった。

また、職種別研修を継続的に実施したことで、職員の専門性向上に加え、拠点間の交流や情報共有が活発化した。顔の見える関係が構築され、各職種間の連携強化が図られ法人全体の一体感が高まった。

外部講師を招いた研修では、法人内では得がたい専門的知識を習得する貴重な機会となった。特にハラスメントや薬剤など関心の高いテーマでは参加者が多く、学びの深化と高い研修効果が得られた。

一方で、法人が重点的に育成したい人材像に沿った研修が十分に実施できず、内容が断片的となり、継続的な学びにつながりにくいという課題が明らかになった。そのため令和 8 年度は、研修の成果目標を体系的に設定し、法人が求める次世代職員の育成をより計画的かつ重点的に進めていく。

（2）実施状況

① 全拠点合同特別研修

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和 7 年 5 月 30 日	新採用者研修	23
2	令和 7 年 6 月 19 日	初任者研修	9
3	令和 7 年 6 月 25 日	ハラスメント・メンタルケア研修	58
4	令和 7 年 7 月 11 日	中堅者研修	12
5	令和 7 年 10 月 17 日	薬剤研修	44
6	令和 7 年 12 月 3 日	カスタマーハラスメント研修	48

② 拠点別研修

【小樽拠点】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年8月20日	感染症BCP研修	8
2	令和7年9月17日	災害BCP研修	7
3	令和8年2月18日	課長・係長研修(ノマドが求めるリーダー像)	13

【発寒拠点】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年7月17日	BCP感染症研修	6
2	令和7年10月30日	災害BCP研修	6
3	令和8年3月19日	課長・係長研修(ノマドが求めるリーダー像)	5

【藤野拠点】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年4月21日	BCP感染症研修	9
2	令和7年12月16日	災害BCP研修	10
3	令和8年3月17日	課長・係長研修(ノマドが求めるリーダー像)	10

③ 事業所・職種別研修

【特養・デイサービス(SW)】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年8月15日	相談員研修①	4
2	令和8年1月15日	相談員研修②	4

【特養・GH(CM)】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年6月17日	特養・GH(介護)研修①	4
2	令和7年10月21日	特養・GH(介護)研修②	4

【特養・GH(CW)】

No.	開催日	研修名	受講人数
1	令和7年6月18日	特養・GH(介護)研修①	4
2	令和7年6月20日	特養・GH(介護)研修②	8

3	令和7年7月16日	特養・GH(介護)研修③	4
4	令和7年8月20日	特養・GH(介護)研修④	5
5	令和7年9月17日	特養・GH(介護)研修⑤	5
6	令和7年10月15日	特養・GH(介護)研修⑥	4
7	令和7年11月19日	特養・GH(介護)研修⑦	4
8	令和7年12月17日	特養・GH(介護)研修⑧	4
9	令和8年1月21日	特養・GH(介護)研修⑨	3

【栄養士】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和7年7月25日	栄養士研修①	7
2	令和7年11月14日	栄養士研修②	6

【特養・GH(NS)】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和7年8月4日	特養・GH(看護師)研修①	7
2	令和7年12月5日	特養・GH(看護師)研修②	6

【デイサービス（全職種）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和7年8月20日	デイサービス研修	4

【居宅・包括（介護支援専門員他）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和7年9月19日	居宅包括研修①	2 2
3	令和8年2月20日	居宅包括研修②	2 2

④ 施設外研修

【小樽拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和7年9月10日	令和7年度後志老協施設長研修会	特別養護老人ホームはる・ケアハウスはる	施設長
2	令和7年9月20日	社会福祉士実習指導者講習会	デイサービスセンターはる	生活相談員
3	令和7年10月2日	口を開けない認知症の方の食支援アプローチ	特別養護老人ホームはる	介護職員
4	令和7年10月10日	拘縮が強い利用者の進行させない、拘縮予防と有効なポジショニング	特別養護老人ホームはる	介護職員
5	令和7年10月14日	看取り期の食支援アプローチ	特別養護老人ホームはる	介護職員
6	令和7年11月21日	年末調整事務担当者セミナー	特別養護老人ホームはる	事務職員
7	令和8年2月17日	障害者雇用納付金制度事務説明会	特別養護老人ホームはる	事務職員
8	令和7年6月17日	小樽市地域包括支援センター研修会	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
9	令和7年7月11日	他法人との合同研修会	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
10	令和7年10月10日	第2回長寿社会開発センター研究セミナー	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
11	令和7年10月29日	小樽市介護給付適正化ケアプラン点検	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
12	令和7年11月4～5日	主任介護支援専門員更新研修	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
13	令和7年11月29日	小樽市児童虐待防止研修会	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
14	令和7年12月2～3日	主任介護支援専門員更新研修	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
15	令和8年1月23日	小樽市地域包括支援センター研修会	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
16	令和8年1月26日	第1回おたるワンチーム多職種連携カンファレンス	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
17	令和8年2月24日	第2回おたるワンチーム多職種連携カンファレンス	居宅介護支援事業所はる	介護支援専門員
18	令和7年10月16日	特定給食施設 栄養担当者研修会	ケアハウスはる	栄養士

【発寒拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和7年7月28日	認知症リーダー研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
2	令和7年8月18日	認知症実践者研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
3	令和7年9月29日	認知症実践者研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
4	令和7年10月20日	認知症リーダー研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
5	令和7年8月18日	認知症実践者研修	デイサービスセンターはっさむはる	生活相談員
6	令和7年4月20日	ChatGPT徹底解説WEBセミナー	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
7	令和7年6月13日	神経難病への関わりについて	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
8	令和7年6月10日～7月11日	令和7年度第1回長寿社会開発センター研究セミナー	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
9	令和7年7月3日、17日	2025年度理事会企画プログラム夏季学会セミナー	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
10	令和7年7月9日～令和8年1月30日	令和7年度ケアラー支援関係機関職員研修	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
11	令和7年12月1日～12月19日	令和8年度北海道高齢者虐待防止推進研修会【現任者編】	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
12	令和7年9月8日～9月30日	令和7年度北海道高齢者虐待防止推進研修会【管理者編】	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
13	令和7年10月2日	2025年度札幌市高齢者虐待対応関係職員研修	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
14	令和7年11月12日～12月12日	令和7年度第3回長寿社会開発センター研究セミナー	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
15	令和7年5月28日	2025年度高齢者虐待対応現任者標準研修	札幌市西区第3包括支援センター	主任介護支援専門員
16	令和7年6月17日	令和7年度第1回長寿社会開発センター研究セミナー	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
17	令和7年7月17日	訪問指導員研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
18	令和7年8月20日	地域包括支援センター職員向け初任者研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・主任介護支援専門員
19	令和7年9月8日	札幌市認知諸施策に関する関係者セミナー	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
20	令和7年9月8日	チームオレンジの取り組みについて	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
21	令和7年9月2日	令和7年度北海道高齢者虐待防止推進研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
22	令和7年9月25日	令和7年度「福まち発！地域福祉市民活動フォーラム」	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
23	令和7年10月22日	令和7年度介護予防ケアマネジメント従事者研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
24	令和7年10月16日	札幌市キャラバンメイト養成研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
25	令和7年10月24日	令和7年度弁護士勉強会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
26	令和7年11月4日	8050事例を用いた多職種研修	札幌市西区第3包括支援センター	介護支援専門員
27	令和7年10月28日	令和7年度北海道高齢者虐待防止推進研修会【現任者研修】	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
28	令和7年11月18日	第2回メディカルスタッフのための認知症研修会	札幌市西区第3包括支援センター	保健師
29	令和7年11月25日	2025年度札幌市高齢者虐待対応関係職員研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
30	令和7年12月19日	令和7年度認知症初期集中支援チームフォローアップ研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
31	令和8年2月19日	令和7年度西区福まち活動者全体研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
32	令和8年3月27日	ケアマネジメントリーダー活動支援事業 市全体研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師

【藤野拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和7年6月9日	ユニットリーダー研修	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
2	令和7年8月7日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（管理者編）	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
3	令和7年8月19日	酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育	特別養護老人ホームらいらく	事務職員
4	令和7年9月8日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（管理者編）	特別養護老人ホームらいらく	施設長
5	令和7年9月20日	認知症介護基礎研修	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
6	令和7年10月17日	薬の知識とリスクの管理	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
7	令和7年10月22日	甲種防火管理者新規講習	特別養護老人ホームらいらく	事務職員
8	令和7年10月25日	介護福祉士実習指導者講習会	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
9	令和7年10月28日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（現任者編）	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
10	令和7年10月28日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（現任者編）	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
11	令和7年11月14日	甲種防火管理者新規講習	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
12	令和7年7月31日	認知症介護基礎研修	デイサービスセンターらいらく	介護職員
13	令和7年4月22日	BCPの研修と訓練を徹底解説	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
14	令和7年5月23日	居宅介護支援費算定の基本理解	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
15	令和7年6月10日	第1回南区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
16	令和7年7月1日	第1回白石区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
17	令和7年7月30日	発達障害の方の実態や支援について	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
18	令和7年7月31日	第1回西区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
19	令和7年8月8日	地域共生社会研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
20	令和7年8月14日	第1回清田区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
21	令和7年8月25日	主任介護支援専門員資質向上研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
22	令和7年9月16日	第2回手稲区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
23	令和7年9月18日	認知症との付き合い方	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
24	令和7年9月22日	難病患者への就労・両立支援	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
25	令和7年10月15日	第3回清田区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
26	令和7年10月16日	第2回南区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
27	令和7年10月18日	北海道社会福祉フォーラム	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
28	令和7年10月18日	北海道社会福祉フォーラム	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
29	令和7年10月22日	第2回豊平区支部定例研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
30	令和7年11月20日	個別地域ケア会議（南区第1包括）	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
31	令和7年12月5日	介護支援専門員研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
32	令和7年12月8日	若年性認知症の対応に関する在宅医療介護従事者向け研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
33	令和8年1月10日	ふるさと藤野交流会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
34	令和8年2月20日	南区権利擁護研修会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
35	令和8年3月27日	介護予防ケアマネジメント研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
36	令和7年5月21日	フード&ヘルスイノベーションフォーラム	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
37	令和7年6月13日	個別地域ケア会議（清田区第2包括）	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
38	令和7年6月19日	年1回、やらなきゃいけないBCP	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
39	令和7年7月15日	清田区の地域のBCPを考えよう	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
40	令和7年7月17日	個別地域ケア会議（清田区第1包括）	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
41	令和7年7月30日	北海道介護支援専門員更新研修Ⅱ	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
42	令和7年8月14日	ケアマネジメントに活かすICTのチカラ	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
43	令和7年8月23日	主任介護支援専門員研修	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
44	令和7年9月2日	北海道介護支援専門員更新研修Ⅱ	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
45	令和7年9月17日	皆で考えよう！救急車の正しい使い方	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
46	令和7年10月14日	北海道主任介護支援専門員更新研修	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
47	令和7年11月19日	高齢・障がい分野の連携と実践	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員

《資料集》

目 次

1	職員の状況	3
2	利用者の状況	3
3	事故の状況	14
4	苦情受付状況	16
5	会議・委員会実施状況	19
6	実習生受け入れ状況	19
7	非常時訓練状況	20

1 職員の状況

(1) 職員の採用・退職者数

・小樽拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和7年度	57人	63人	120人	4人	16人	20人	4人	16人	20人	57人	63人	120人
令和6年度	57人	72人	129人	7人	13人	20人	7人	22人	29人	58人	70人	128人
令和5年度	69人	79人	148人	5人	12人	17人	13人	16人	29人	61人	75人	136人

・発寒拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和7年度	72人	56人	128人	8人	10人	18人	15人	6人	21人	65人	60人	125人
令和6年度	75人	49人	124人	10人	14人	24人	11人	9人	20人	74人	54人	128人
令和5年度	73人	47人	120人	7人	13人	20人	7人	9人	16人	75人	49人	124人

・藤野拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和7年度	55人	53人	108人	3人	8人	11人	11人	13人	24人	47人	50人	97人
令和6年度	50人	48人	98人	7人	12人	19人	4人	10人	14人	53人	50人	103人
令和5年度	43人	48人	91人	3人	5人	8人	5人	10人	15人	41人	43人	84人

(2) 職員の資格取得状況（令和8年3月31日現在）

資格名	小樽		発寒		藤野		計	
	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員
医師		1		1		1	0	3
保健師			3				3	0
助産師							0	0
看護師	3	5	6	2	4		13	7
准看護師	2	3	2		1	2	5	5
介護福祉士	39	27	40	25	30	13	109	65
社会福祉士	5		14	2	4		23	2
管理栄養士	2		2		2		6	0
栄養士	1						1	0
理学療法士			1				1	0
作業療法士					2		2	0
言語聴覚士							0	0
介護支援専門員	11	2	21	3	7		39	5
計	63	38	89	33	50	16	202	87

2 利用者の状況

(1) 介護老人福祉施設

① 月別・介護度別入所状況

<<小樽>>

		令和7年度														令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護3	実人数	28	26	26	26	26	24	23	21	24	25	23	22	294	30.5%	379	355
	延人数	840	796	732	806	806	720	697	616	693	752	621	676	8,755	30.5%	11,143	10,386
要介護4	実人数	29	32	33	33	32	33	35	36	35	35	35	37	405	42.0%	321	351
	延人数	870	943	966	1,022	968	965	1,072	1,059	1,056	1,002	954	1,139	12,016	41.8%	9,576	10,338
要介護5	実人数	22	24	23	21	22	23	23	23	22	20	21	21	265	27.5%	272	272
	延人数	660	714	660	651	682	690	706	681	672	615	588	645	7,964	27.7%	8,138	8,015
実利用人数計		79	82	82	80	80	80	81	80	81	80	79	80	964	100%	972	978
延利用人数計		2,370	2,453	2,358	2,479	2,456	2,375	2,475	2,356	2,421	2,369	2,163	2,460	28,735	100%	28,857	28,739
1日平均利用人数		79.0	79.1	78.6	80.0	79.2	79.2	79.8	78.5	78.1	76.4	77.3	79.4	年平均	78.7	79.1	78.5
稼働率		98.8%	98.9%	98.3%	100.0%	99.0%	99.0%	99.8%	98.2%	97.6%	95.5%	96.6%	99.2%	年平均	98.4%	98.8%	98.2%

<<発寒>>

		令和7年度														令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	7
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	214
要介護3	実人数	32	32	33	34	34	31	30	31	31	33	32	31	384	39.7%	372	406
	延人数	934	933	951	1,026	1,005	917	872	884	934	944	828	945	11,173	40.2%	10,981	11,946
要介護4	実人数	28	28	28	28	29	31	31	30	31	31	30	30	355	36.7%	347	331
	延人数	803	832	815	832	863	862	854	838	864	846	753	892	10,054	36.2%	10,067	9,608
要介護5	実人数	20	20	20	19	18	18	19	19	19	18	19	20	229	23.7%	255	225
	延人数	572	574	535	520	527	534	589	557	537	538	521	573	6,577	23.7%	7,491	6,497
実利用人数計		80	80	81	81	81	80	80	80	81	82	81	81	968	100%	974	969
延利用人数計		2,309	2,339	2,301	2,378	2,395	2,313	2,315	2,279	2,335	2,328	2,102	2,410	27,804	100%	28,539	28,265
1日平均利用人数		77.0	75.5	76.7	76.7	77.3	77.1	74.7	76.0	75.3	75.1	75.1	77.7	年平均	76.2	78.2	77.2
稼働率		96.2%	94.3%	95.9%	95.9%	96.6%	96.4%	93.3%	95.0%	94.2%	93.9%	93.8%	97.2%	年平均	95.2%	97.7%	96.5%

<<藤野>>

		令和7年度														令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護3	実人数	26	28	28	29	28	28	30	31	31	29	30	29	347	36.0%	282	267
	延人数	780	787	827	851	808	822	913	832	937	880	840	883	10,160	36.0%	8,227	7,960
要介護4	実人数	38	38	37	37	38	38	38	39	40	40	41	42	466	48.3%	467	421
	延人数	1,114	1,134	1,042	1,146	1,166	1,078	1,113	1,121	1,168	1,232	1,087	1,252	13,653	48.4%	13,602	12,359
要介護5	実人数	16	16	15	14	14	13	11	13	11	11	9	8	151	15.7%	227	295
	延人数	474	467	435	434	421	335	326	341	336	340	244	248	4,401	15.6%	6,742	8,345
実利用人数計		80	82	80	80	80	79	79	83	82	80	80	79	964	100%	976	983
延利用人数計		2,368	2,388	2,304	2,431	2,395	2,235	2,352	2,294	2,441	2,452	2,171	2,383	28,214	100%	28,571	28,664
1日平均利用人数		78.9	77.0	76.8	78.4	77.3	74.5	75.9	76.5	78.7	79.1	77.5	76.9	年平均	77.3	78.3	78.3
稼働率		98.7%	96.3%	96.0%	98.0%	96.6%	93.1%	94.8%	95.6%	98.4%	98.9%	96.9%	96.1%	年平均	96.6%	97.8%	97.9%

② 年齢別入所者状況

《小樽》

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和8年3月31日 現在	男	0	0	2	7	0	87.4	9
	女	0	0	6	60	5	90.2	71
	計	0	0	8	67	5	89.8	80
令和7年3月31日 現在	男	0	0	1	7	0	86.9	8
	女	0	0	8	60	4	89.6	72
	計	0	0	9	67	4	89.1	80
令和6年3月31日 現在	男	0	0	1	6	1	89.1	8
	女	0	0	8	58	6	89.5	72
	計	0	0	9	64	7	89.5	80

《発寒》

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和8年3月31日 現在	男	0	0	3	13	0	86.0	16
	女	0	0	6	56	2	90.6	64
	計	0	0	9	69	2	89.8	80
令和7年3月31日 現在	男	0	0	3	8	1	86.2	12
	女	0	0	6	56	5	90.3	67
	計	0	0	9	64	6	89.7	79
令和6年3月31日 現在	男	0	0	1	9	1	88.7	11
	女	0	0	5	58	6	91.5	69
	計	0	0	6	67	7	91.1	80

《藤野》

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和8年3月31日 現在	男	0	0	1	12	1	88.7	14
	女	0	0	4	55	6	91.5	65
	計	0	0	5	67	7	91.0	79
令和7年3月31日 現在	男	0	0	1	9	1	88.7	11
	女	0	0	5	58	6	91.5	69
	計	0	0	6	67	7	91.1	80
令和6年3月31日 現在	男	0	0	3	11	1	89.1	15
	女	1	1	3	56	4	89.5	65
	計	1	1	6	67	5	89.4	80

③ 月別入退所状況

《小樽》

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和7年度	入所	1	2	4	0	1	0	3	0	3	5	2	1
	退所	0	2	4	0	1	0	3	0	3	5	2	1	21
令和6年度	入所	1	2	3	1	2	0	2	6	1	8	2	3	31
	退所	1	2	3	1	2	0	2	6	3	7	1	4	32
令和5年度	入所	3	3	3	3	9	2	5	2	3	1	2	1	37
	退所	4	2	3	3	9	5	4	0	3	1	2	1	37

「発寒」

令和7年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	2	3	1	3	3	1	1	4	4	3	2	29
退所	0	3	2	2	5	0	1	1	6	3	3	1	27	
令和6年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	0	3	1	1	1	1	2	1	2	3	5	1	21
退所	0	3	1	1	1	1	2	3	3	1	5	2	23	
令和5年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	1	0	0	4	3	0	2	4	1	3	6	26
退所	2	1	0	2	4	1	0	3	3	2	4	4	26	

「藤野」

令和7年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	1	3	3	3	0	2	2	2	4	2	0	2	2
退所	1	3	4	2	0	3	1	4	2	0	2	1	23	
令和6年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	0	3	0	4	2	1	1	1	1	1	1	17
退所	2	1	2	0	4	2	1	1	1	1	1	1	17	
令和5年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	3	4	2	3	0	1	2	3	4	1	3	1	27
退所	3	4	2	3	0	1	2	3	4	2	2	1	27	

④ 待機者状況

「小樽」

区分	内訳									
	待機者数	待機地域		待機状況						
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他	
令和7年度末	51	51	0	0	8	0	16	19	8	
令和6年度末	59	59	0	0	14	0	16	22	7	
令和5年度末	96	95	1	0	8	0	21	54	13	

「発寒」

区分	内訳									
	待機者数	待機地域		待機状況						
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他	
令和7年度末	42	41	1	1	11	1	9	17	3	
令和6年度末	47	45	2	0	8	3	10	22	4	
令和5年度末	54	50	4	1	16	3	11	15	8	

「藤野」

区分	内訳									
	待機者数	待機地域		待機状況						
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他	
令和7年度末	6	6	0	0	2	0	2	2	0	
令和6年度末	20	20	0	0	3	0	6	5	6	
令和5年度末	22	21	1	2	4	1	8	6	1	

(2) 短期入所生活介護

月別・介護度別入所状況

<<小樽>>

		令和7年度															令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.7%	3	2	
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0	0	13	0.2%	19	12	
要介護1	実人数	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	2	1	8	3.0%	27	11	
	延人数	0	0	0	1	0	4	0	2	26	18	15	10	76	1.2%	525	98	
要介護2	実人数	3	1	2	3	2	1	5	2	2	2	3	2	28	10.4%	38	52	
	延人数	24	11	16	44	15	11	44	39	29	18	33	35	319	5.1%	703	571	
要介護3	実人数	10	11	12	10	11	11	12	10	10	8	7	5	117	43.7%	106	131	
	延人数	253	317	306	270	310	311	308	285	264	199	147	107	3,077	49.4%	2,654	2,819	
要介護4	実人数	7	8	6	7	8	8	8	7	7	8	6	8	88	32.8%	74	85	
	延人数	180	194	140	159	215	204	190	191	209	210	145	206	2,243	36.0%	1,633	1,840	
要介護5	実人数	1	1	0	2	1	2	2	2	2	2	4	6	25	9.3%	29	32	
	延人数	30	15	0	26	31	43	24	37	42	47	63	137	495	8.0%	664	586	
実利用人数計		21	21	20	23	22	23	27	22	23	22	22	22	268	100%	277	313	
延利用人数計		487	537	462	500	571	573	566	554	576	499	403	495	6,223	100%	6,198	5,926	
1日平均利用人数		16.2	17.3	15.4	16.1	18.4	19.1	18.3	18.5	18.6	16.1	14.4	16.0	年平均	17.0	17.0	16.2	
稼働率		81.2%	86.6%	77.0%	80.6%	92.1%	95.5%	91.3%	92.3%	92.9%	80.5%	72.0%	79.8%	年平均	85.2%	84.9%	81.0%	

<<滝寒>>

		令和7年度															令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
要支援	実人数	1	1	2	2	3	3	2	2	1	2	2	1	22	6.7%	2	0	
	延人数	3	3	9	7	19	26	22	18	19	14	16	8	164	2.5%	9	0	
要介護1	実人数	4	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4	51	15.5%	98	9	
	延人数	43	101	69	50	78	85	65	66	80	66	59	49	811	12.2%	533	131	
要介護2	実人数	2	2	4	2	3	3	3	4	5	4	5	6	43	13.1%	52	13	
	延人数	26	18	38	21	37	58	66	67	78	90	69	96	664	10.0%	437	201	
要介護3	実人数	9	8	5	7	9	7	7	8	7	4	8	8	87	26.4%	109	100	
	延人数	218	221	110	160	175	142	177	192	197	194	173	190	2,149	32.3%	2,844	2,648	
要介護4	実人数	8	7	10	9	9	7	8	7	9	6	6	6	92	28.0%	104	99	
	延人数	188	168	248	245	220	166	192	193	196	129	101	151	2,197	33.0%	2,689	2,780	
要介護5	実人数	4	4	4	3	3	2	3	1	2	3	2	3	34	10.3%	39	37	
	延人数	90	89	84	56	62	34	47	30	34	35	45	66	672	10.1%	437	1,025	
実利用人数計		28	27	30	26	32	27	27	26	28	23	27	28	329	100%	404	258	
延利用人数計		568	600	558	539	591	511	569	566	604	528	463	560	6,657	100%	6,949	6,785	
1日平均利用人数		18.9	19.4	18.6	17.4	19.1	17.0	18.4	18.9	19.5	17.0	16.5	18.1	年平均	18.2	19.0	18.5	
稼働率		94.7%	96.8%	93.0%	86.9%	95.3%	85.2%	91.8%	94.3%	97.4%	85.2%	82.7%	90.3%	年平均	91.2%	95.2%	92.7%	

<<藤野>>

		令和7年度															令和6年度	令和5年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
要支援	実人数	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	9	2.6%	6	1	
	延人数	4	2	0	4	2	4	4	0	11	0	10	11	52	0.8%	11	6	
要介護1	実人数	1	4	3	4	5	2	1	3	5	3	4	5	40	11.5%	28	21	
	延人数	4	15	14	18	19	5	4	10	21	9	34	23	176	2.8%	245	233	
要介護2	実人数	7	4	4	4	6	3	3	3	2	2	5	4	47	13.5%	56	40	
	延人数	107	73	59	60	95	71	72	59	44	40	57	53	790	12.7%	728	618	
要介護3	実人数	10	13	11	11	10	11	13	10	10	12	12	14	137	39.4%	109	147	
	延人数	259	285	286	201	217	212	212	201	200	223	220	274	2,790	44.9%	2,696	3,142	
要介護4	実人数	10	9	9	7	6	8	9	7	8	9	7	5	94	27.0%	87	87	
	延人数	192	198	142	113	158	174	190	168	146	178	137	99	1,895	30.5%	1,863	1,831	
要介護5	実人数	2	1	1	1	1	1	2	3	2	2	2	3	21	6.0%	22	37	
	延人数	8	12	30	31	31	30	54	45	62	62	56	84	505	8.1%	552	962	
実利用人数計		31	32	28	28	29	26	29	26	28	28	31	32	348	100%	308	333	
延利用人数計		574	585	531	427	522	496	536	483	484	512	514	544	6,208	100%	6,095	6,792	
1日平均利用人数		19.1	18.9	17.7	13.8	16.8	16.5	17.3	16.1	15.6	16.5	18.4	17.5	年平均	17.0	16.7	18.6	
稼働率		95.7%	94.4%	88.5%	68.9%	84.2%	82.7%	86.5%	80.5%	78.1%	82.6%	91.8%	87.7%	年平均	85.1%	83.5%	92.8%	

(3) 通所介護

① 月別・介護度別利用状況

《赤岩》

令和7年度																令和6年度	令和5年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
営業日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	257		256	257	
要支援 1	実人数	6	7	7	8	7	7	7	6	6	6	7	6	80	4.9%	86	90
	延人数	23	29	25	41	26	33	32	25	24	19	30	27	334	3.2%	370	346
要支援 2	実人数	14	14	13	13	12	10	11	13	14	15	15	15	159	9.8%	186	189
	延人数	92	82	89	104	79	69	82	73	83	88	105	95	1,041	10.1%	1,201	1,132
要介護 1	実人数	37	32	30	31	31	29	33	32	33	37	36	40	401	24.7%	415	439
	延人数	274	248	222	230	219	242	233	209	229	239	254	279	2,878	27.8%	2,833	2,800
要介護 2	実人数	58	55	57	55	53	54	56	61	60	57	58	56	680	41.9%	653	634
	延人数	366	379	346	363	343	340	387	368	361	313	318	386	4,270	41.3%	4,041	3,768
要介護 3	実人数	16	16	16	18	20	21	22	21	23	21	21	23	238	14.7%	214	183
	延人数	96	98	105	122	118	124	140	123	143	125	112	150	1,456	14.1%	1,171	1,061
要介護 4	実人数	4	5	3	4	4	6	5	4	3	3	2	5	48	3.0%	26	45
	延人数	22	18	12	15	26	31	26	20	19	13	16	31	249	2.4%	73	256
要介護 5	実人数	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	3	17	1.0%	20	12
	延人数	8	10	9	10	13	10	9	9	6	8	10	14	116	1.1%	122	109
実利用人数計	136	130	127	130	129	129	135	138	140	140	141	148	1,623	100.0%	1,600	1,592	
延利用人数計	881	864	808	885	824	849	909	827	865	805	845	982	10,344	100.0%	9,811	9,472	
1日平均利用人数	40.0	39.3	38.5	38.5	39.2	38.6	39.5	41.4	41.2	40.3	42.3	44.6	年平均	40.3	38.3	36.9	
稼働率	80.1%	78.5%	77.0%	77.0%	78.5%	77.2%	79.0%	82.7%	82.4%	80.5%	84.5%	89.3%	年平均	80.5%	76.6%	73.7%	

《稲穂》

令和7年度																令和6年度	令和5年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
営業日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	235		256	257	
要支援 1	実人数	6	7	6	7	7	7	6	5	4	2	1	58	5.5%	72	64	
	延人数	24	28	24	29	27	32	24	19	9	7	7	230	3.5%	305	231	
要支援 2	実人数	13	13	14	14	14	17	17	14	10	7	5	138	13.1%	155	163	
	延人数	83	90	93	89	78	93	98	69	51	38	28	810	12.2%	1,067	987	
要介護 1	実人数	29	30	29	32	33	31	29	25	22	14	7	281	26.6%	401	409	
	延人数	195	185	163	212	173	203	201	143	131	60	22	1,688	25.5%	2,351	2,302	
要介護 2	実人数	36	37	37	44	42	40	42	34	25	18	11	366	34.7%	432	439	
	延人数	232	279	281	305	281	271	288	179	129	92	66	2,403	36.3%	2,841	2,821	
要介護 3	実人数	10	12	13	13	11	14	14	14	13	5	4	123	11.6%	109	110	
	延人数	73	77	79	84	88	106	114	83	94	43	35	876	13.2%	671	698	
要介護 4	実人数	5	5	4	5	5	5	5	5	4	3	2	48	4.5%	55	82	
	延人数	28	24	18	21	21	23	23	19	12	7	6	202	3.1%	241	387	
要介護 5	実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	1.0%	16	15	
	延人数	12	13	13	13	13	13	14	12	11	10	12	136	2.1%	148	149	
自立支援	実人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	31	2.9%	63	57	
	延人数	22	30	28	31	27	29	25	27	27	16	11	273	4.1%	460	418	
実利用人数計	103	108	107	119	116	118	117	101	82	52	33	1,056	100.0%	1,303	1,339		
延利用人数計	669	726	699	784	708	770	787	551	464	273	187	6,618	100.0%	8,084	7,993		
1日平均利用人数	30.4	33.0	33.3	34.1	33.7	35.0	34.2	27.6	22.1	13.7	9.4	年平均	25.5	31.6	31.1		
稼働率	67.6%	73.3%	74.0%	75.7%	74.9%	77.8%	76.0%	61.2%	49.1%	30.3%	20.8%	年平均	62.6%	70.2%	69.1%		

<はっさむ>

令和7年度															令和6年度	令和5年度	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
営業日数	22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	257		256	257	
要支援1	実人数	23	22	22	22	22	21	21	18	19	19	19	20	248	16.8%	295	219
	延人数	94	87	80	97	81	83	90	68	67	67	67	76	957	10.4%	1,121	865
要支援2	実人数	23	23	23	23	25	27	26	28	25	25	23	27	298	20.2%	294	244
	延人数	154	154	152	162	151	177	183	155	151	142	125	183	1,889	20.6%	1,920	1,432
要介護1	実人数	45	44	45	43	44	41	41	40	42	37	41	56	519	35.3%	479	517
	延人数	311	323	324	322	287	297	302	274	276	226	242	407	3,591	39.2%	3,355	3,427
要介護2	実人数	23	22	22	23	21	27	28	25	28	27	27	31	304	20.7%	251	223
	延人数	167	165	150	180	163	188	196	157	191	170	166	209	2,102	22.9%	1,673	1,754
要介護3	実人数	6	5	7	6	6	5	5	5	6	5	5	7	68	4.6%	83	65
	延人数	35	32	40	44	33	37	39	29	40	36	34	48	447	4.9%	576	509
要介護4	実人数	1	2	4	3	4	3	2	2	2	4	4	3	34	2.3%	13	15
	延人数	9	13	17	20	19	20	10	8	7	17	18	16	174	1.9%	100	111
要介護5	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%	9	22
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0.1%	71	109
実利用人数計	121	118	123	120	122	124	123	118	122	117	119	145	1,472	100.0%	1,424	1,305	
延利用人数計	770	774	763	825	734	802	820	691	732	658	652	947	9,168	100.0%	8,816	8,207	
1日平均利用人数	35.0	35.2	36.3	35.9	35.0	36.5	35.7	34.6	34.9	32.9	32.6	43.0	年平均	35.6	34.4	31.9	
稼働率	83.3%	83.8%	86.5%	85.4%	83.2%	86.8%	84.9%	82.3%	83.0%	78.3%	77.6%	86.1%	年平均	84.9%	86.1%	79.8%	

<北17条>

令和7年度															令和6年度	令和5年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
営業日数	22	22	21	23	22	22	23	21	20	20	20		236		256	257
要支援1	実人数	9	10	10	9	9	6	7	5	5	4	4	78	7.9%	97	100
	延人数	39	37	37	38	31	24	26	18	18	14	12	294	4.4%	385	385
要支援2	実人数	9	8	9	11	10	14	14	15	14	10	10	124	12.6%	101	111
	延人数	45	44	51	65	58	90	92	86	75	42	52	700	10.5%	540	625
要介護1	実人数	44	44	42	41	37	39	38	35	29	25	22	396	40.2%	619	570
	延人数	348	340	337	332	290	299	308	251	234	166	145	3,050	45.7%	4,821	3,945
要介護2	実人数	28	28	25	22	22	20	20	19	17	13	12	226	23.0%	280	269
	延人数	192	166	145	160	147	152	150	111	104	76	76	1,479	22.2%	1,853	2,116
要介護3	実人数	6	5	5	7	10	8	9	9	7	5	4	75	7.6%	65	89
	延人数	40	38	50	64	69	77	79	76	52	30	26	601	9.0%	364	464
要介護4	実人数	8	7	7	7	6	5	6	6	5	5	4	66	6.7%	55	50
	延人数	47	48	45	43	35	42	48	38	32	22	21	421	6.3%	377	360
要介護5	実人数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	19	1.9%	25	27
	延人数	14	14	14	15	12	21	6	4	10	4	8	122	1.8%	97	104
実利用人数計	106	104	100	99	96	94	96	90	79	63	57	984	100.0%	1,242	1,216	
延利用人数計	725	687	679	717	642	705	709	584	525	354	340	6,667	100.0%	8,437	7,999	
1日平均利用人数	33.0	31.2	32.3	31.2	29.2	32.0	30.8	27.8	26.3	17.7	17.0	年平均	25.7	33.0	31.1	
稼働率	82.4%	78.1%	80.8%	77.9%	73.0%	80.1%	77.1%	69.5%	65.6%	44.3%	42.5%	年平均	70.6%	82.4%	88.9%	

<<らいらっく>>

令和7年度															令和6年度	令和5年度	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
営業日数	26	27	25	27	26	26	27	25	25	24	24	26	308		308	308	
要支援1	実人数	10	9	8	9	8	7	6	6	5	5	3	3	79	5.8%	128	69
	延人数	42	37	36	40	33	32	28	24	24	22	12	11	341	3.0%	573	314
要支援2	実人数	13	15	16	16	17	16	15	17	17	17	17	16	192	14.1%	144	189
	延人数	95	103	102	108	110	104	105	97	109	111	96	99	1,239	10.8%	1,096	1,296
要介護1	実人数	43	42	42	46	42	43	42	43	45	47	45	46	526	38.6%	578	555
	延人数	400	401	358	395	371	390	388	356	400	373	377	419	4,628	40.4%	5,101	5,052
要介護2	実人数	36	34	35	36	35	37	38	38	35	35	36	37	432	31.7%	352	309
	延人数	342	346	325	343	336	356	369	331	295	281	300	343	3,967	34.6%	3,637	3,140
要介護3	実人数	4	6	5	6	6	6	8	7	7	7	8	9	79	5.8%	56	76
	延人数	52	81	57	72	72	76	90	76	65	71	79	88	879	7.7%	628	845
要介護4	実人数	6	4	4	2	3	4	4	2	2	2	2	2	37	2.7%	53	59
	延人数	35	35	32	27	21	36	37	25	21	25	22	21	337	2.9%	386	588
要介護5	実人数	0	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	17	1.2%	13	12
	延人数	0	3	8	11	11	12	11	5	7	2	2	3	75	0.7%	42	45
実利用人数計	112	111	111	117	113	115	115	115	113	114	112	114	1,362	100.0%	1,324	1,269	
延利用人数計	966	1,006	918	996	954	1,006	1,028	914	921	885	888	984	11,466	100.0%	11,463	11,280	
1日平均利用人数	37.2	37.3	36.7	36.9	36.7	38.7	38.1	36.6	36.8	36.9	37.0	37.8	年平均	37.2	37.2	36.6	
稼働率	92.9%	93.1%	91.8%	92.2%	91.7%	96.7%	95.2%	91.4%	92.1%	92.2%	92.5%	94.6%	年平均	93.1%	93.0%	91.6%	

<<清田>>

令和7年度															令和6年度	令和5年度	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度	
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20		235		256	257	
要支援1	実人数	15	15	14	14	15	16	15	13	13	13		156	14.2%	192	220	
	延人数	66	64	55	66	54	60	63	48	48	43	50		617	9.0%	735	840
要支援2	実人数	16	16	15	14	13	12	13	13	10	7		142	12.9%	200	244	
	延人数	90	91	78	80	61	63	83	67	63	42	29		747	10.9%	1,157	1,348
要介護1	実人数	48	45	46	47	46	48	44	40	37	29	25		455	41.4%	581	514
	延人数	321	315	319	359	341	348	322	278	232	174	108		3,117	45.4%	3,837	3,298
要介護2	実人数	23	23	25	24	26	25	26	24	25	20	15		256	23.3%	299	266
	延人数	157	176	183	196	191	191	171	149	158	119	45		1,736	25.3%	2,014	1,746
要介護3	実人数	4	4	6	6	5	6	6	6	5	4		58	5.3%	51	61	
	延人数	27	26	44	42	36	61	55	52	50	37	29		459	6.7%	334	333
要介護4	実人数	4	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3		28	2.5%	7	10
	延人数	15	14	9	13	14	14	19	14	12	11	15		150	2.2%	25	33
要介護5	実人数	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0		5	0.5%	6	7
	延人数	9	9	8	8	0	0	0	0	0	0	0		34	0.5%	44	16
実利用人数計	111	106	109	109	107	110	107	99	96	79	67		1,100	100.0%	1,336	1,322	
延利用人数計	685	695	696	764	697	737	713	608	563	426	276		6,860	100.0%	8,146	7,614	
1日平均利用人数	31.1	30.2	34.8	33.2	31.7	35.1	31.0	29.0	28.2	21.3	13.8		年平均	29.0	31.8	29.6	
稼働率	77.8%	75.5%	87.0%	83.0%	79.2%	87.7%	77.5%	72.4%	70.4%	53.3%	34.5%		年平均	73.0%	79.6%	74.1%	

② 体験利用

《赤岩》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	4	1	1	5	4	4	4	6	5	7	7	7	55
	契約人数	4	3	1	5	3	5	5	6	7	9	10	11	69
令和6年度	体験利用数	7	13	12	9	4	3	4	6	8	4	5	3	78
	契約人数	5	7	6	8	3	3	3	5	3	0	4	1	48
令和5年度	体験利用数	0	2	2	4	3	6	5	5	4	4	5	3	43
	契約人数	0	2	2	3	4	4	4	5	4	4	6	2	40

《稲穂》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	4	4	7	7	3	0	0	0	0	0	0	0	25
	契約人数	4	4	5	10	5	0	0	0	0	0	0	0	28
令和6年度	体験利用数	5	2	7	1	4	7	7	2	3	2	2	4	46
	契約人数	5	2	4	3	2	4	2	2	2	0	2	3	31
令和5年度	体験利用数	5	4	7	4	3	5	4	7	11	5	6	6	67
	契約人数	3	1	5	0	2	3	3	5	7	3	4	2	38

《はっさむ》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	6	8	3	7	9	7	2	8	16	6	13	9	94
	契約人数	3	4	0	6	7	4	2	4	8	3	11	7	59
令和6年度	体験利用数	8	13	12	11	9	4	0	7	3	2	4	8	81
	契約人数	6	4	7	5	5	7	0	4	1	1	2	5	47
令和5年度	体験利用数	9	16	14	6	7	9	9	8	7	7	6	6	104
	契約人数	5	12	10	3	6	6	3	3	3	2	6	4	63

《北17条》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	8	5	4	6	3	6	2	1	0	0	0	0	35
	契約人数	5	2	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0	17
令和6年度	体験利用数	7	9	6	5	4	4	5	7	3	8	3	2	63
	契約人数	3	4	2	1	1	1	3	2	0	4	2	1	24
令和5年度	体験利用数	7	7	6	6	5	13	14	7	11	8	6	5	95
	契約人数	4	3	5	3	1	5	6	3	5	1	1	3	40

《らいらっく》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	2	1	6	5	4	4	2	4	4	4	3	1	40
	契約人数	2	2	4	7	2	3	3	3	3	5	1	1	36
令和6年度	体験利用数	8	9	12	7	2	1	8	4	0	6	3	2	62
	契約人数	5	1	9	3	7	3	7	3	1	3	3	4	49
令和5年度	体験利用数	4	3	1	7	8	4	6	7	0	6	8	6	60
	契約人数	1	1	1	4	3	3	5	3	0	3	4	2	30

《清田》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	8	4	5	7	3	2	4	0	0	0	0	0	33
	契約人数	1	1	3	2	2	1	2	0	0	0	0	0	12
令和6年度	体験利用数	5	4	4	2	3	2	4	6	4	7	4	6	51
	契約人数	3	3	2	1	3	2	2	3	3	5	3	3	33
令和5年度	体験利用数	8	10	4	10	4	9	11	5	3	3	7	10	84
	契約人数	11	9	3	7	3	5	8	6	2	2	1	4	61

(4) 認知症対応型通所介護

① 月別・介護度別入所状況

		令和7年度													令和6年度	令和5年度	
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
営業日数		22	22	21	23	21	22	23	20	21	20	20	22	257	25	256	257
要介護1	実人数	4	4	3	5	3	1	0	0	0	0	3	2	25	11.7%	50	27
	延人数	22	21	19	28	18	4	0	0	0	0	22	14	148	9.8%	340	126
要介護2	実人数	3	2	3	4	4	4	4	4	3	3	4	5	43	20.1%	65	99
	延人数	29	12	12	22	32	23	14	15	14	17	22	36	248	16.4%	468	688
要介護3	実人数	9	9	6	6	6	5	5	6	5	5	6	7	75	35.0%	101	67
	延人数	49	47	36	69	36	39	40	36	38	36	35	63	524	34.7%	580	551
要介護4	実人数	5	5	4	5	6	6	6	6	5	5	5	5	63	29.4%	82	58
	延人数	40	32	33	36	36	48	45	48	40	48	48	59	513	34.0%	584	429
要介護5	実人数	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	8	3.7%	5	0
	延人数	0	0	2	0	12	13	17	14	10	4	6	0	78	5.2%	31	0
実利用人数計		21	20	17	20	20	17	16	17	14	14	19	19	214	100.0%	303	251
延利用人数計		140	112	102	155	134	127	116	113	102	105	133	172	1,511	100.0%	2,003	1,794
1日平均利用人数		6.4	5.1	4.9	6.7	6.4	5.8	5.0	5.7	4.9	5.3	6.7	7.8	年平均	5.9	7.8	7.0
稼働率		53.0%	42.4%	40.5%	56.2%	53.2%	48.1%	42.0%	47.1%	40.5%	43.8%	55.4%	65.2%	年平均	49.0%	65.2%	58.2%

② 体験利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	体験利用数	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1	0	1	6
	契約人数	0	0	1	2	0	0	0	2	0	3	1	1	10
令和6年度	体験利用数	3	3	0	3	0	1	1	3	4	0	0	1	19
	契約人数	3	2	2	0	0	1	2	4	1	6	0	0	21
令和5年度	体験利用数	1	2	4	4	1	1	3	0	0	0	1	2	19
	契約人数	0	1	2	3	3	1	3	4	3	0	1	1	22

(5) 認知症対応型共同入所介護

① 月別・介護度別入所状況

		令和7年度													令和6年度	令和5年度	
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	年度	年度
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	10	10	10	9	8	8	8	7	7	7	7	7	98	30.2%	103	93
	延人数	299	310	274	279	248	240	248	210	217	217	196	217	2,955	30.1%	3,024	2,657
要介護2	実人数	8	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8	102	31.5%	77	50
	延人数	240	248	240	272	279	270	279	270	279	248	224	248	3,097	31.6%	2,229	1,524
要介護3	実人数	4	4	4	4	5	5	5	4	4	5	5	5	54	16.7%	56	54
	延人数	120	124	120	124	155	150	155	120	124	155	140	155	1,642	16.7%	1,663	1,646
要介護4	実人数	4	4	3	3	3	3	3	5	5	4	4	3	44	13.6%	58	65
	延人数	120	124	90	93	93	90	93	150	150	124	112	93	1,332	13.6%	1,775	1,984
要介護5	実人数	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	26	8.0%	28	62
	延人数	30	31	60	62	62	60	62	60	62	93	84	124	790	8.0%	823	1,983
実利用人数計		27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324	100%	322	324
延利用人数計		809	837	784	830	837	810	837	810	832	837	756	837	9,816	100%	9,514	9,794
1日平均利用人数		27.0	27.0	26.1	26.8	27.0	27.0	27.0	27.0	26.8	27.0	27.0	27.0	年平均	26.9	26.0	26.8
稼働率		99.9%	100.0%	96.8%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	年平均	99.6%	96.3%	99.4%

② 年齢別入所者状況

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和8年3月31日 現在	男	0	0	0	3	1	92.2	4
	女	0	0	2	21	0	90.2	23
	計	0	0	2	24	1	89.1	27
令和7年3月31日 現在	男	0	0	0	3	1	92.2	4
	女	0	0	3	20	0	89.7	23
	計	0	0	3	23	1	90.2	27
令和6年3月31日 現在	男	0	0	0	3	1	90.7	4
	女	0	0	2	21	0	89.6	23
	計	0	0	2	24	1	89.5	27

③月別入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
令和6年度	入所	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	3	8
	退所	0	0	0	0	1	2	1	1	0	1	2	0	8
令和5年度	入所	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
	退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4

(6) 軽費老人ホーム (ケアハウス)

① 年齢別入居者状況

		区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和8年3月31日 現在	男		0	0	2	8	0	84.3	10
	女		0	0	3	36	1	87.8	40
	計		0	0	5	44	1	87.1	50
令和7年3月31日 現在	男		0	0	2	8	0	83.2	10
	女		0	0	3	33	2	88.1	38
	計		0	0	5	41	2	87.1	48
令和6年3月31日 現在	男		0	0	2	8	0	83.1	10
	女		0	0	2	34	2	87.7	38
	計		0	0	4	42	2	86.7	48

② 月別入居状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日在所者数	50	50	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	599
(1日付入所)	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	8
月途中入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月途中退居者数	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	6
月末在所者数	48	49	49	49	50	50	50	50	50	48	50	50	593

③ 入居待機状況

年度	待機者	内訳					
		男女別		待機状況		待機地域	
		男	女	在宅	その他	市内	市外
令和7年度末現在	41	15	26	35	6	40	1
令和6年度末現在	49	15	34	39	10	47	2
令和5年度末現在	42	13	29	33	9	38	4

3 事故の状況

(1) 介護老人福祉施設

事故状況

事故内容

拠点	小樽拠点			発寒拠点			藤野拠点		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	75	87	68	35	23	27	41	24	22
転落	12	23	10	3	10	13	8	7	9
ずり落ち	42	26	20	5	6	7	7	8	4
打撲	0	2	3	3	2	2	2	0	6
変色	1	4	11	4	8	6	50	45	27
誤嚥	0	0	2	1	1	2	0	0	1
異食	4	6	0	2	4	4	0	0	4
器物破損	8	5	6	3	4	4	0	1	1
外傷	12	3	7	8	13	20	20	28	11
誤薬	5	1	4	1	0	1	1	0	1
薬関係	2	2	1	6	10	11	5	8	5
Rt間のトラブル	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	6	7	9	3	9	4	5	4	7
合計	167	167	141	74	90	101	139	125	98

ヒヤリハット内容

拠点	小樽拠点			発寒拠点			藤野拠点		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	508	567	688	44	60	45	64	28	66
転落	118	70	105	5	17	14	13	17	28
ずり落ち	83	57	33	1	1	13	5	10	4
打撲	6	4	2	0	5	3	0	1	0
変色	24	9	18	0	0	4	12	16	29
誤嚥	65	65	126	10	8	5	3	3	3
異食	16	25	22	4	4	14	1	3	4
器物破損	70	13	16	1	5	0	1	1	1
外傷	16	28	43	2	1	0	3	8	17
誤薬	56	53	71	0	0	0	2	1	1
薬関係	66	105	164	14	28	56	11	7	12
Rt間のトラブル	84	16	34	4	0	3	0	0	2
その他	147	237	252	9	2	2	40	25	51
合計	1259	1059	1249	94	122	131	155	107	120

(2) 短期入所生活介護

事故状況

事故内容

拠点	小樽拠点			発寒拠点			藤野拠点		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	75	26	33	20	21	9	32	15	18
転落	12	2	1	2	3	1	2	1	4
ずり落ち	42	11	6	3	6	5	7	4	3
打撲	0	0	0	0	0	0	1	0	2
変色	1	4	3	2	0	0	19	11	13
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食	4	1	0	0	1	1	0	0	0
器物破損	8	1	3	0	5	2	0	0	1
外傷	12	0	0	4	7	3	11	3	2
誤薬	5	2	1	0	0	1	0	0	0
薬関係	2	0	3	3	4	5	3	4	1
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6	3	6	15	10	0	4	4	5
合計	167	50	56	49	57	27	79	42	49

ヒヤリハット内容

拠点	小樽拠点			発寒拠点			藤野拠点		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	508	150	229	29	43	44	68	48	33
転落	118	9	24	0	4	4	9	5	4
ずり落ち	83	8	18	1	1	2	8	2	3
打撲	6	1	0	0	0	0	3	1	0
変色	24	0	2	0	1	0	0	2	0
誤嚥	65	31	15	11	9	9	0	2	1
異食	16	4	7	2	3	1	1	2	3
器物破損	70	11	6	0	1	3	2	0	3
外傷	16	5	5	0	1	3	2	0	2
誤薬	56	19	9	0	0	0	0	0	0
薬関係	66	55	57	16	14	15	7	3	2
Rt間のトラブル	84	12	4	0	0	0	0	0	0
その他	147	62	66	9	21	6	4	30	14
合計	1259	367	442	68	98	87	104	95	65

(3) 通所介護

事故状況

事故内容

拠点	赤岩			稲穂			はっさむ			北17条			らいらっく			清田		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	7	9	3	1	4	4	7	9	7	1	2	7	7	8	10	2	4	2
転落	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
ずり落ち	0	0	2	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	1	1
投薬忘れ	4	2	4	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	5	3
物の返し忘れ	3	0	0	0	0	0	6	1	5	2	4	4	3	0	0	0	3	0
持参忘れ	1	0	0	0	0	0	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
車両事故	3	0	0	0	0	0	17	18	9	0	0	0	3	6	9	0	3	1
その他	27	31	23	5	5	4	16	19	11	4	4	2	6	2	2	1	15	6
合計	46	43	34	6	10	11	54	55	37	8	11	14	21	18	24	8	35	20

ヒヤリハット内容

拠点	赤岩			稲穂			はっさむ			北17条			らいらっく			清田		
	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	36	39	13	148	132	87	0	0	0	3	4	6	0	1	5	1	11	20
転落	1	5	7	1	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
ずり落ち	0	0	2	0	2	16	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
浴槽内事故	5	0	3	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2
無断外出	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	2
誤嚥	0	0	0	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
投薬忘れ	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物の返し忘れ	5	0	0	0	1	0	3	1	11	0	0	0	1	4	0	0	0	6
持参忘れ	0	0	0	0	9	0	7	4	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
その他	37	28	9	39	40	29	19	12	5	0	0	4	16	29	8	5	8	19
合計	88	75	36	188	195	154	33	17	19	3	7	12	20	37	17	6	27	56

(4) 認知症対応型通所介護及び認知症対応型共同入所介護

事故状況

事故内容

拠点	認知症デイ		
	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	4	3	1
転落	0	0	1
ずり落ち	1	0	0
浴槽内事故	0	0	0
無断外出	0	0	0
誤嚥	0	0	0
誤薬	0	0	0
投薬忘れ	1	1	3
物の返し忘れ	2	4	0
持参忘れ	0	0	0
送迎忘れ	3	0	0
車両事故	0	0	0
その他	8	7	12
合計	19	15	17

ヒヤリハット内容

拠点	認知症デイ		
	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	20	5	4
転落	2	1	0
ずり落ち	1	0	0
浴槽内事故	3	0	0
無断外出	0	0	0
誤嚥	0	0	0
誤薬	0	0	0
投薬忘れ	1	4	0
物の返し忘れ	0	4	0
持参忘れ	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0
車両事故	0	0	0
その他	18	4	8
合計	45	18	12

事故内容

拠点	グループホーム		
	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	23	25	22
転落	1	3	4
ずり落ち	1	1	2
打撲	2	4	5
変色	5	0	0
誤嚥	1	0	0
異食	0	1	0
器物破損	0	14	15
外傷	1	3	9
誤薬	0	2	0
薬関係	0	2	3
Rt間のトラブル	0	2	2
その他	2	1	0
合計	36	58	62

ヒヤリハット内容

拠点	グループホーム		
	R7年度	R6年度	R5年度
転倒	119	84	133
転落	6	8	16
ずり落ち	15	1	6
打撲	0	4	3
変色	4	5	13
誤嚥	17	19	14
異食	4	3	11
器物破損	19	8	10
外傷	5	14	9
誤薬	4	0	0
薬関係	49	92	142
Rt間のトラブル	1	9	12
その他	25	71	146
合計	268	318	515

4 苦情受付状況

・小樽拠点

【短期入所生活介護施設はる 1件】

○受付年月日 令和7年7月23日

○申立人 四女

苦情内容	対応状況等
<p>四女が面会後に、看護職員に苦情を申し立てた。</p> <p>○ナースコールが壁にあり、本人が押せない状況になっていた。</p> <p>○テレビを付けて欲しいといったが、部屋になかった。</p> <p>○昨日対応した別の看護職員に、薬や緊急対応のことなどで不安をあおられた。</p>	<p>対応した看護職員が下記の説明を行い謝罪した。</p> <p>○ナースコールは本人が押せないとの情報であったため、そのような対応になってしまった。</p> <p>○テレビは設置するべきところを失念していた。</p> <p>○看護職員の対応により、家族の不安を助長させてしまったこととお詫びし、看護責任者が指導することを伝えた。</p> <p>最後は表情穏やかに謝罪を受け入れてくれた。</p>

【デイサービスセンターはる小樽稲穂 4件】

○受付年月日 令和7年4月3日

○申立人 利用者の妻

苦情内容	対応状況等
<p>連絡ノートに休みの日を記載しているのに、間違えて迎えに来ることが2回もあった。情報共有がしっかりできていないのではないかと。</p>	<p>管理者より連絡し、2回も立て続けに同じことをし、ご迷惑をおかけしたことを謝罪した。妻からは今後気を付けてくれればいと謝罪を受け入れてくれた。</p>

○受付年月日 令和7年7月18日

○申立人 利用者本人

苦情内容	対応状況等
<p>本人よりデイサービス利用中に、他の利用者から「〇〇さんが好きなのかい？」とからかわれたため、近くにいた職員に注意をするようお願いしたが、「いろいろな方がいるので」と濁すだけで注意してくれず、不快な気持ちになった。</p>	<p>本人に話をした利用者は認知症があり、悪気なく話をしていたと思われたが、対応した職員の対応に問題があったことを後日本人に謝罪し、接遇、不適切ケア、認知症の方へのアプローチなどを行っていくことを伝え、謝罪を受け入れてくれた。</p>

○受付年月日 令和7年7月18日

○申立人 利用者本人

苦情内容	対応状況等
<p>デイサービス送迎時、車いすを固定するためフックを掛けようとした際に、運転手が本人の意図す</p>	<p>運転手がフックを掛ける箇所を勘違いしたことを謝罪し、本人は最後には笑いながら、謝罪を受け入</p>

る箇所ではないところに掛けようとしたため、車いすが壊れてしまうと激高され、側にいた添乗者が対応を替わったが、後日正式に苦情を申し立てられた。	れてくれた。
--	--------

○受付年月日 令和7年9月19日

○申立人 利用者の妻

苦情内容	対応状況等
4月に連絡ノートに休みの日を記載しているのに間違えて迎えに来ることが2回もあったので、気を付けるとのことであったが、また間違えて迎えに来た。	管理者より連絡し、前回以降気を付けて対応していたが業務が重なり、確認が抜け落ちてしまったと改めて謝罪し、妻からはいつもお世話になっているので、今後気を付けてくれればいと謝罪を受け入れてくれた。

・発寒拠点

【特別養護老人ホームはっさむはる 1件】

○受付年月日 令和8年3月13日

○申立人 妻

苦情内容	対応状況等
妻より電話にて、面会に行った際に爪がとても伸びており、爪の中も真っ黒になっていた。2月27日に面会に行った時も同様であったと訴えあり。	電話対応者より、早急に対応すること、ご心配ご迷惑お掛けしたことを謝罪する。ユニットへ確認にいくと、爪が伸びて爪の間に黒く汚れが溜まっている状態だった。確認した上記内容を伝達し、再度謝罪する。爪に限らず、身だしなみについては整えていくことを伝える。後日、ユニットリーダーからも謝罪する。

【短期入所生活介護施設はっさむはる 1件】

○受付年月日 令和8年2月18日

○申立人 娘

苦情内容	対応状況等
①下衣がパジャマで、股引もはいていない状態で帰ってきた。股引を履かずに帰ってきたのが今回で2回目。どういう対応になっているのか？なぜ同じことが2度も続くのか？伝達の体制はどうなっているのか？ ②本人が急に連れていかれたから、荷物やお菓子を持って来られなかったと言っている。残っていないのですか？母が言っていることも間違えて	電話対応職員より謝罪する。パジャマ、お菓子については確認する旨伝える。 ①衣類については、朝にパジャマから普段着へ交換した。その後、衣類の確認は行っていないが、午後までは普段着で経過していた。股引の確認は行っていなかった。退所時に着ていた衣類は確認できていない。午後から夕方にかけて、ご自身で荷物から衣類を出して更衣したことが考えられる。

<p>いないのではないと思ってしまう。</p> <p>③パジャマの上衣が返却されていない。どういうことですか？前に股引もなくされて、今回もパジャマもなくされて、言っただけだと思えますけど母のことをきちんと見てもらえるのか、信用できなくなる。朝からそのままの格好でしたのですか？何も見てもらえてないのですか？ダメなのはダメと伝えないといけないので、今回は伝えさせていただく。</p>	<p>②お菓子は全て食べきった。本人で食べたものと、他者へ配ったものがあったが、すべて食べた。</p> <p>③荷物は自室に置いていと、本人が出し入れをしていた。ただし他室へ持っていくことはなかった。</p> <p>ユニットを捜索し、氏が利用した居室タンス一番下の棚を取り出し、奥を見るとパジャマの上衣が落ちていた。</p> <p>家族へ連絡。①~③を説明、報告し、謝罪する。</p>
--	--

【デイサービスセンターはっさむはる 1件】

○受付年月日 令和7年4月15日

○申立人 本人

苦情内容	対応状況等
<p>午後の入浴時に、職員より急かされて入浴させられた。体調もあまり良くないし、急かされても早く動けないし、私がやめれば済むことだから、デイサービスの利用をやめたいと訴えあり。</p>	<p>管理者と面談。</p> <p>当該職員に事実を確認すると、午後に公衆電話の前で、他の要件で息子さんに電話をかけようとしていた時に入浴の声かけをしたが、急かした訳ではないが、そのように聞こえたのかもしれないことであった。管理者より謝罪し、今後の対応や声かけについて今一度、管理者の方から職員に配慮するように注意していくことを伝え、納得していただく。</p>

・藤野拠点

【特別養護老人ホームらいらく 2件】

○受付年月日 令和7年4月3日

○申立人 三女

苦情内容	対応状況等
<p>面会時に、手の爪が伸びているので切ってほしい。昨年からの荷物間違いなどが度重なっている。</p>	<p>家族に謝罪し、爪切りを行う。令和6年度にも荷物の返し忘れ等、家族からの指摘にて判明することもあり、重ねて謝罪しご理解いただいた。</p>

○受付年月日 令和8年1月3日

○申立人 長女

苦情内容	対応状況等
<p>ユニット内で新型コロナが発生し、濃厚接触者の父に、正月という特別な時期であるのに面会ができな。他施設は制限がないのに厳しすぎるので</p>	<p>新型コロナ陽性者がいる状況であり、施設の方針として対応していることを説明するが納得していただかず。面会制限緩和をしており、今後も検討し</p>

はないか。厚生労働省へ意見するため、施設に迷惑がかかるかもしれないから、一言言っておきますと言われる。	ていくことを説明する。その後、長女や厚生労働省からの連絡はなかった。
---	------------------------------------

5 会議・委員会実施状況

(1) 会議

	居宅 合同 <small>法人合同</small>	特養 SW <small>法人合同</small>	運営	入所 判定	給食	全体
小樽	12	2	11	3	8	1
発寒			11	3	12	0
藤野			12	29	12	1

(2) 委員会

	研修 <small>法人合同</small>	広報 <small>法人合同</small>	事故 防止	身体 拘束 廃止	虐待 防止	苦情 処理	感染 症 予防	褥瘡 予防	防災 BCP	倫理	個人情報 法令遵守	衛生	ポラ ンテ ィア
小樽	1	1	12	12	12	2	12	12	2	1	1	12	2
発寒			11	11	11	2	11	11	2	4	1	12	
藤野			12	12	12	12	11	12	12	2	1	1	12

6 実習生受け入れ状況

・小樽拠点

受入れ期間	学校・専攻科	受入れ事業所	人数
令和7年10月10日～10月12日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	特別養護老人ホームはる	1

・発寒拠点

受入れ期間	学校・専攻科	受入れ事業所	人数
令和7年6月9日～7月18日	せいとく介護こども福祉専門学校	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年9月1日～10月2日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年10月6日～10月17日	せいとく介護こども福祉専門学校	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年10月6日～10月10日	天使大学 看護栄養学部 栄養学科	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年11月25日～12月12日	せいとく介護こども福祉専門学校	特別養護老人ホームはっさむはる	1
令和8年2月17日～3月12日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年6月9日～6月13日	*介護体験 北海道教育大学	デイサービスセンターはっさむはる	2

令和7年6月16日～6月20日	*介護体験 北海道教育大学	デイサービスセンターはっさむはる	2
令和7年8月18日～8月22日	*介護体験 藤女子大学	デイサービスセンターはっさむはる	2
令和7年9月1日～9月5日	*介護体験 札幌大学	デイサービスセンターはっさむはる	2
令和7年9月8日～9月12日	*介護体験 北海道教育大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年9月15日～9月19日	*介護体験 札幌学院大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年9月22日～9月26日	*介護体験 札幌学院大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年10月6日～10月23日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	デイサービスセンターはっさむはる	2
令和7年10月6日～10月10日	*介護体験 北星学園大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年10月13日～10月17日	*介護体験 札幌学院大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年10月20日～10月24日	*介護体験 札幌学院大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和8年2月2日～2月6日	*介護体験 東海大学	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年6月9日～6月13日	*介護体験 北海道教育大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年6月16日～6月20日	*介護体験 北翔大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年8月4日～8月8日	*介護体験 北海道教育大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年8月11日～8月15日	*介護体験 北海道大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年8月18日～8月22日	*介護体験 藤女子大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年8月25日～8月29日	*介護体験 藤女子大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年9月1日～9月5日	*介護体験 北海道大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年9月8日～9月12日	*介護体験 藤女子大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年10月6日～10月10日	*介護体験 北海学園大学	デイサービスセンターはる北17条	1
令和7年10月13日～10月17日	*介護体験 北海学園大学	デイサービスセンターはる北17条	1

*介護体験：小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験

・藤野拠点

受入れ期間	学校・専攻科	受入れ事業所	人数
令和7年9月22日～10月3日	小樽高等支援学校（2年生）	特別養護老人ホームらいらっく	1
令和7年10月22日～11月21日	北海道介護福祉大学校 社会福祉学科	特別養護老人ホームらいらっく	2

7 非常時訓練状況

・小樽拠点

実施日	実施内容	参加職員数
令和7年9月24日	消防避難訓練 夜間の地震による火災を想定し、通報・消火・避難を行う 風水害訓練 窓・ドアの破損確認及び備品確認を行う	12
令和7年8月14日	BCP研修 行動フロー確認（机上）	8

	停電対策（電力復旧までの訓練） 災害非常食について	
令和 8 年 3 月 27 日	消防避難訓練 日中の地震による火災を想定し、通報・消火・避難を行う 風水害訓練 窓・ドアの破損確認及び備品確認を行う	6

・ 発寒拠点

実施日	実施内容	参加職員数
令和 7 年 10 月 1 日	避難訓練 夜間火災を想定し、通報・消化・避難を連携し行う 地震訓練 机上にて地震発生を想定した訓練を実施	16
令和 7 年 10 月 29 日	BCP 研修（水害対策） 行動フローの確認（机上訓練） デイサービス利用者の垂直避難（机上訓練） 浸水対策【実際に土のうを含まらせる】 緊急物資の運び出し（机上訓練） 避難後の状況確認等（机上訓練） 振り返り	6
令和 8 年 3 月 26 日	避難訓練 日中火災を想定し、通報・消化・避難を連携し行う	8

・ 藤野拠点

実施日	実施内容	参加職員数
令和 7 年 10 月 14 日	消防避難訓練 日中火災を想定し、通報・消化・避難を連携し行う	11
令和 7 年 12 月 16 日	災害 B C P（地震・水害・雪害対策） 停電対策 ガスが停まった時 断水対策 通信が麻痺した場合 衛生面対策（排泄関係） 災害非常食について	10
令和 8 年 1 月 27 日	消防避難訓練 夜間火災を想定し、通報・消化・避難を連携し行う 地震訓練 机上にて地震発生を想定した訓練を実施	10